

**男女共同参画社会に関する市民意識調査
結果報告書
〈概要版〉**

**令和6年11月
沼田市**

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の方法及び回収結果	1
3	集計と分析の内容	1
4	集計結果のみかた	1
II	調査結果	2
	回答者の属性	2
1	男女平等について（問1）	5
2	家庭生活について（問2～問4）	8
3	子育てや介護について（問5～問9）	21
4	社会活動・地域活動について（問10～問12）	25
5	就労について（問13～問20）	28
6	人権について（問21～問23）	39
7	男女共同参画社会について（問24～問27）	46

I 調査の概要

1 調査の目的

市民の男女共同参画社会に関する意識、実態等を把握・分析し、次期「沼田市男女共同参画計画」の策定及び、沼田市における男女共同参画社会実現に向けた施策をより効果的に進めるための基礎資料とすることを目的に行いました。

2 調査の方法及び回収結果

調査の方法及び調査票の回収結果は以下のとおりです。

調査実施期間	令和6(2024)年9月1日～9月30日
調査対象	市内在住の18歳以上70歳未満の市民2,000人
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
配布・回収方法	配布は郵送法(返信用封筒を同封) 回収は郵送法またはインターネット専用フォームによる回答
有効回収数	634件(有効回収率31.7%) うち回答用紙476件(有効回収数の75.1%)・インターネット158件(同24.9%)

3 集計と分析の内容

○属性別の集計において、図表で示す構成比率(%)は、特にことわりがない場合、各属性の総数を母数(n)としています。また、これまでの調査から継続する質問について、比較として示す値の母数もこれに準じます。

○これまでの調査から継続する質問については、本調査結果との比較を行いました。

○図表中で「2024年度」とあるのは本調査、「2019年度」と「2014年度」はそれぞれ以下を示します。

調査年度	2024年度(本調査)	2019年度(前回調査)	2014年度(前々回調査)
調査名	男女共同参画に関する市民意識調査		
調査対象	18歳以上70歳未満の市民2,000人	20歳以上70歳未満の市民2,000人	20歳以上70歳未満の市民2,000人
配布・有効回収数	2,000件配布 634件回収 (回収率31.7%)	2,000件配布 658件回収 (回収率32.9%)	2,000件配布 763件回収 (回収率38.2%)

4 集計結果のみかた

○集計結果は、小数点第二位を四捨五入し、構成比率(%)で小数点第一位まで表示しています。そのため、表示された構成比率の合計が100.0%にならない場合や、差の値や合計値が、表示された値から算出したものとは異なる場合があります。

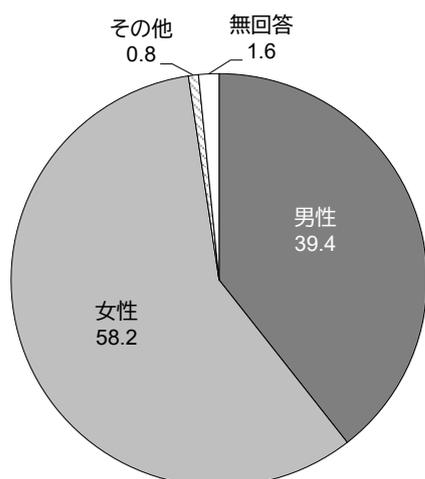
○図表及び本文中に示す項目(選択肢)内容は、省略して表示することがあります。

○図中の値表示について、3%未満の場合、表示をしないことがあります。

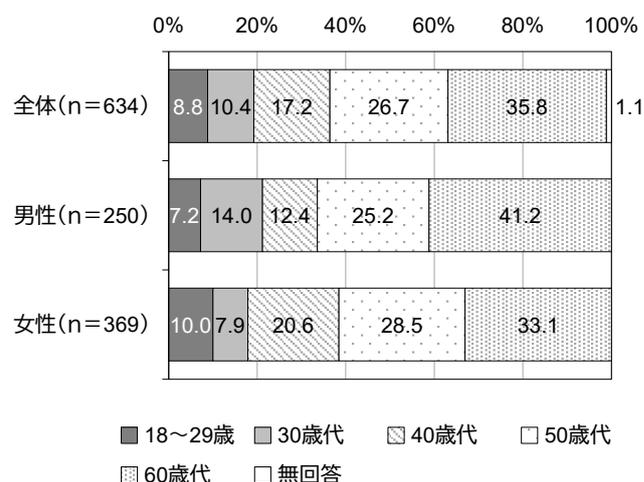
Ⅱ 調査結果

回答者の属性

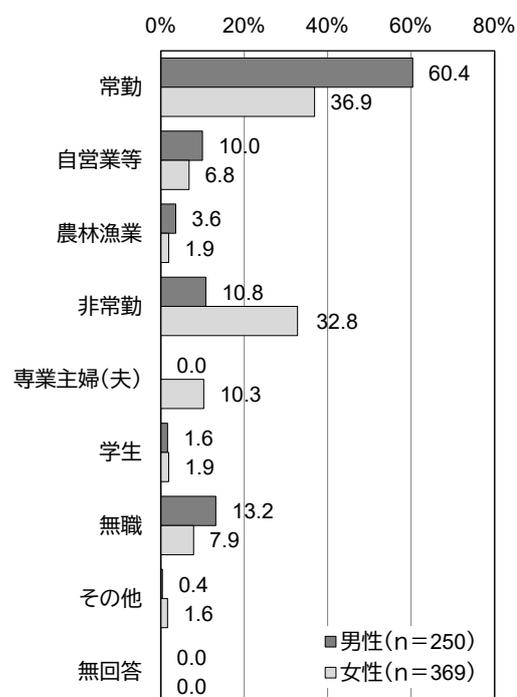
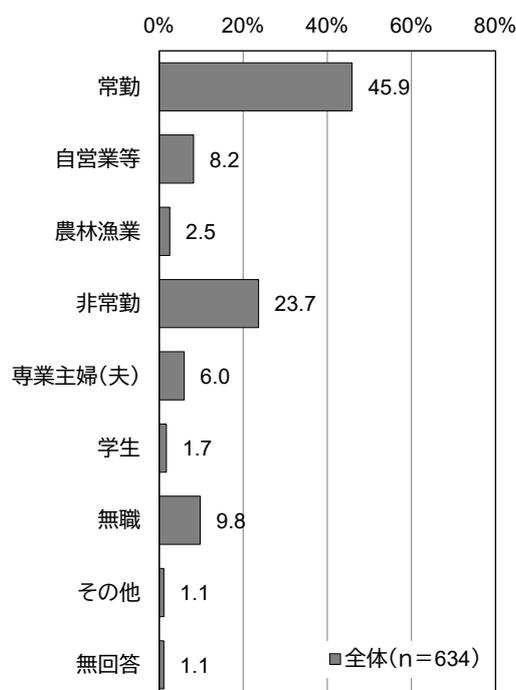
(1) 性別



(2) 年齢

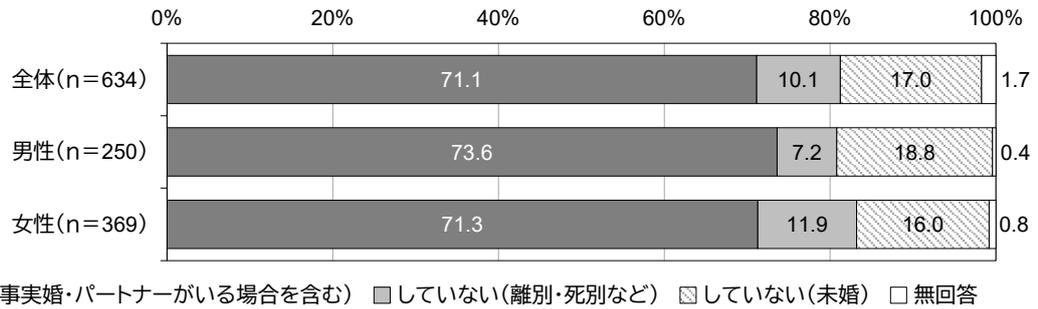


(3) 職業



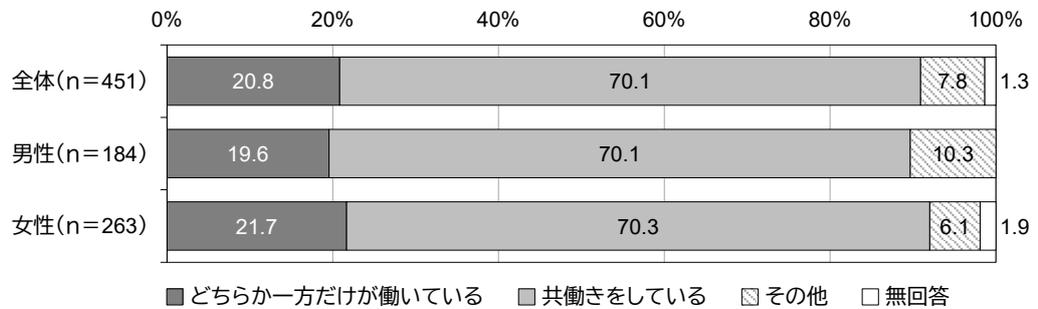
※回答者の職業のうち、「常勤の勤め人（会社員、公務員、団体職員等）」は「常勤」、「自由業・自営業」は「自営業等」、「臨時・非常勤・パート、アルバイト・フリーターなどの勤め人」は「非常勤」と表示

(4) 結婚の状況



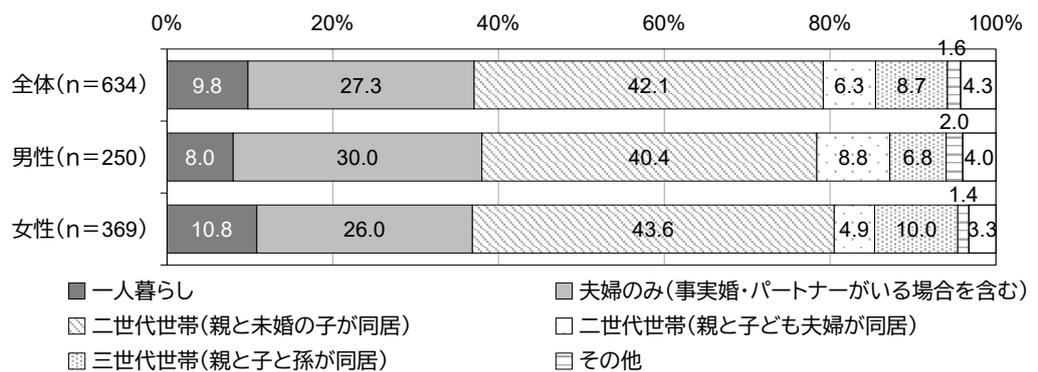
(5) 夫婦・パートナーの働き方

【(4)で「している」と回答した場合】



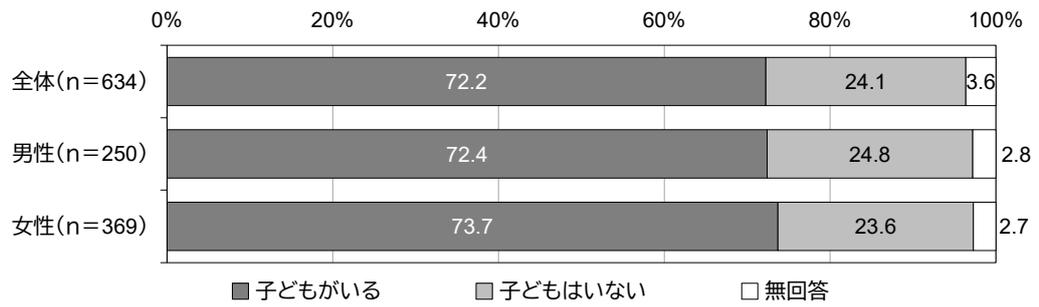
※「その他」の内容：夫婦（二人）ともに無職、年金（生活者）など

(6) 世帯構成

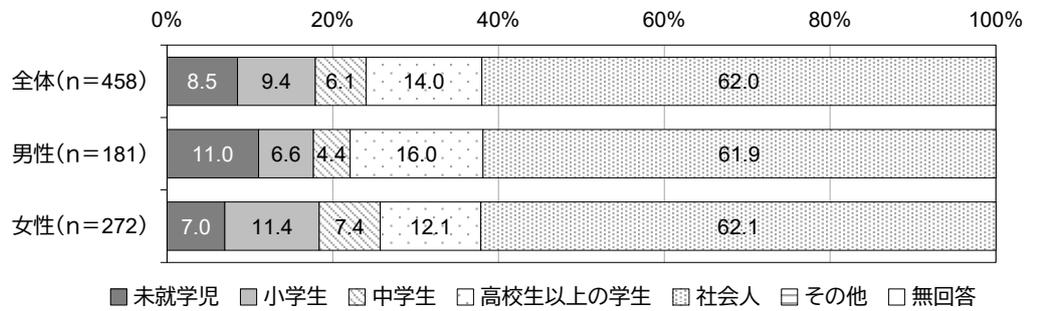


※「その他」の内容：姉と二人、4世代世帯、親と離別した子が同居、夫婦と妻の妹、親の介護があるので3人とも一人暮らし

(7) 子どもの有無



(8) 未子の年代等

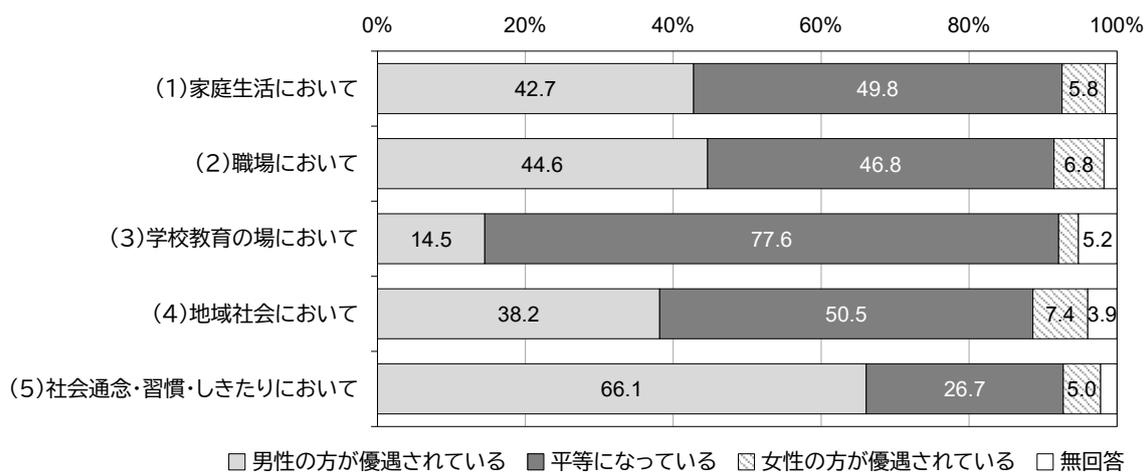


※「その他」の回答なし

1 男女平等について（問1）

問1. あなたは、以下の分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれについて、あなたの考えに最も近いものを選んでください。（それぞれ1つに○）

◆「平等になっている」は「学校教育の場」が約8割で特に高く、「社会通念・習慣・しきたり」が3割未満で特に低い



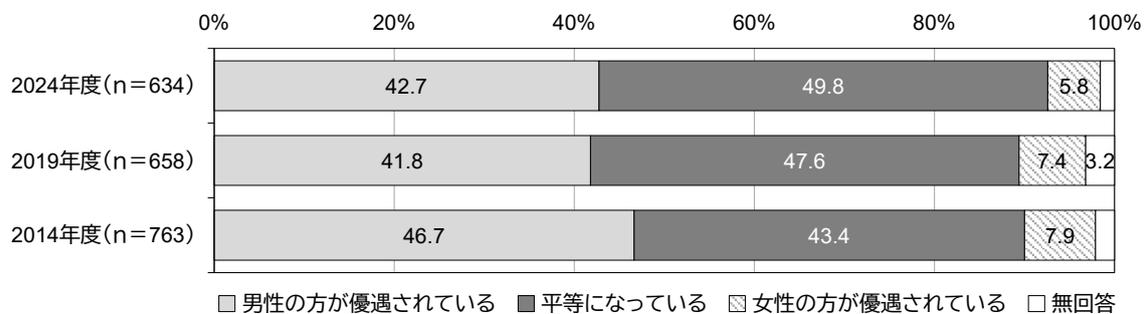
2024年度 (n=634)

※「(4) 地域社会において」は、「(4) 地域社会（自治会やPTAなどの地域活動）において」として設定

(1) 家庭生活において

◆「平等になっている」が約5割で最も高く、次いで「男性の方が優遇されている」が4割以上

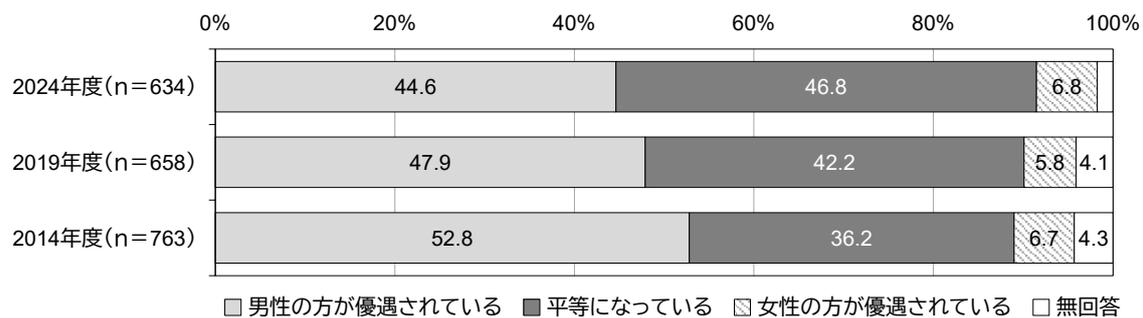
◆過去2回の調査と同様の傾向



(2) 職場において

◆「平等になっている」「男性の方が優遇されている」が約4割で同程度に高い

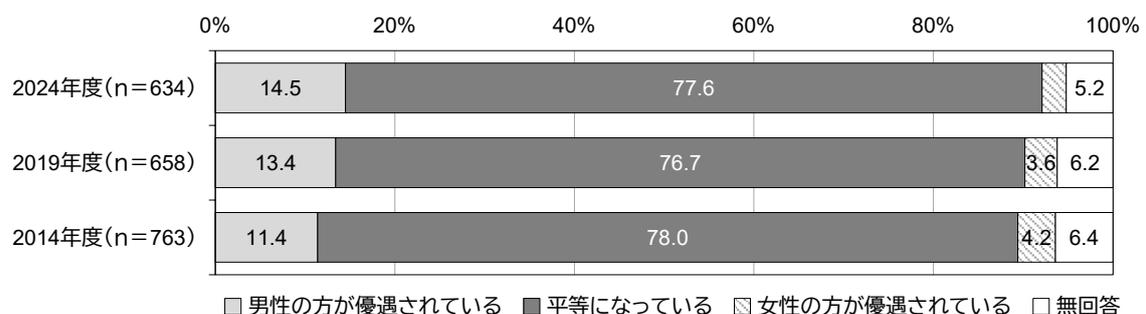
◆「平等になっている」が高くなる傾向



(3) 学校教育の場において

◆「平等になっている」が約8割で最も高く、次いで「男性の方が優遇されている」が1割以上

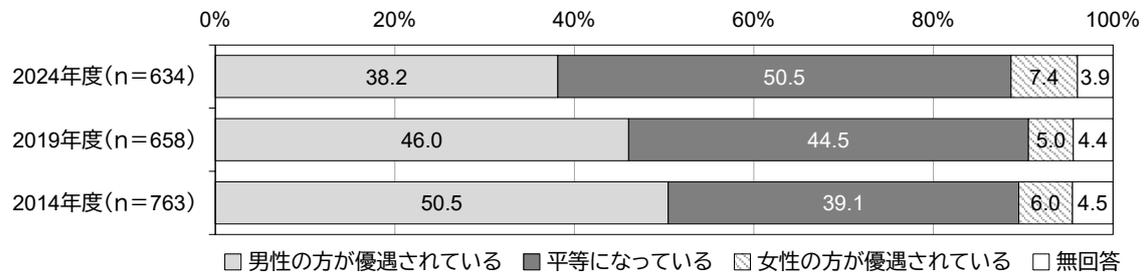
◆過去2回の調査と同様の傾向



(4) 地域社会において

◆「平等になっている」が5割以上で最も高く、次いで「男性の方が優遇されている」が約4割

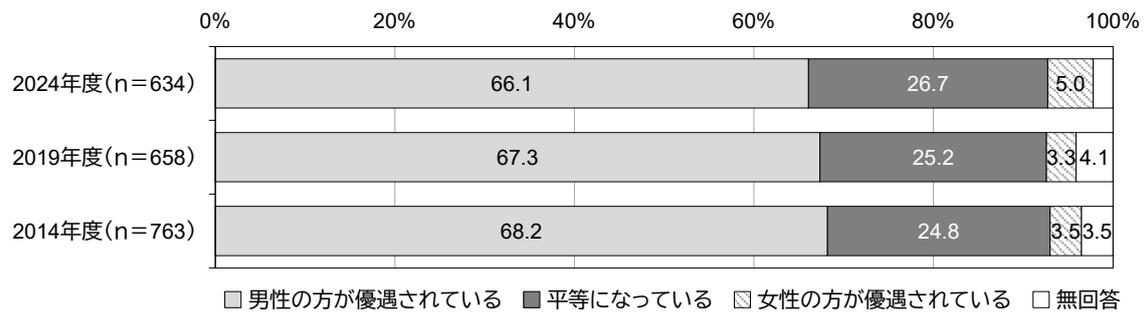
◆「男性の方が優遇されている」は低くなる傾向、「平等になっている」は高くなる傾向



(5) 社会通念・習慣・しきたりにおいて

◆「男性の方が優遇されている」が6割以上で最も高く、次いで「平等になっている」が約3割

◆過去2回の調査と同様の傾向

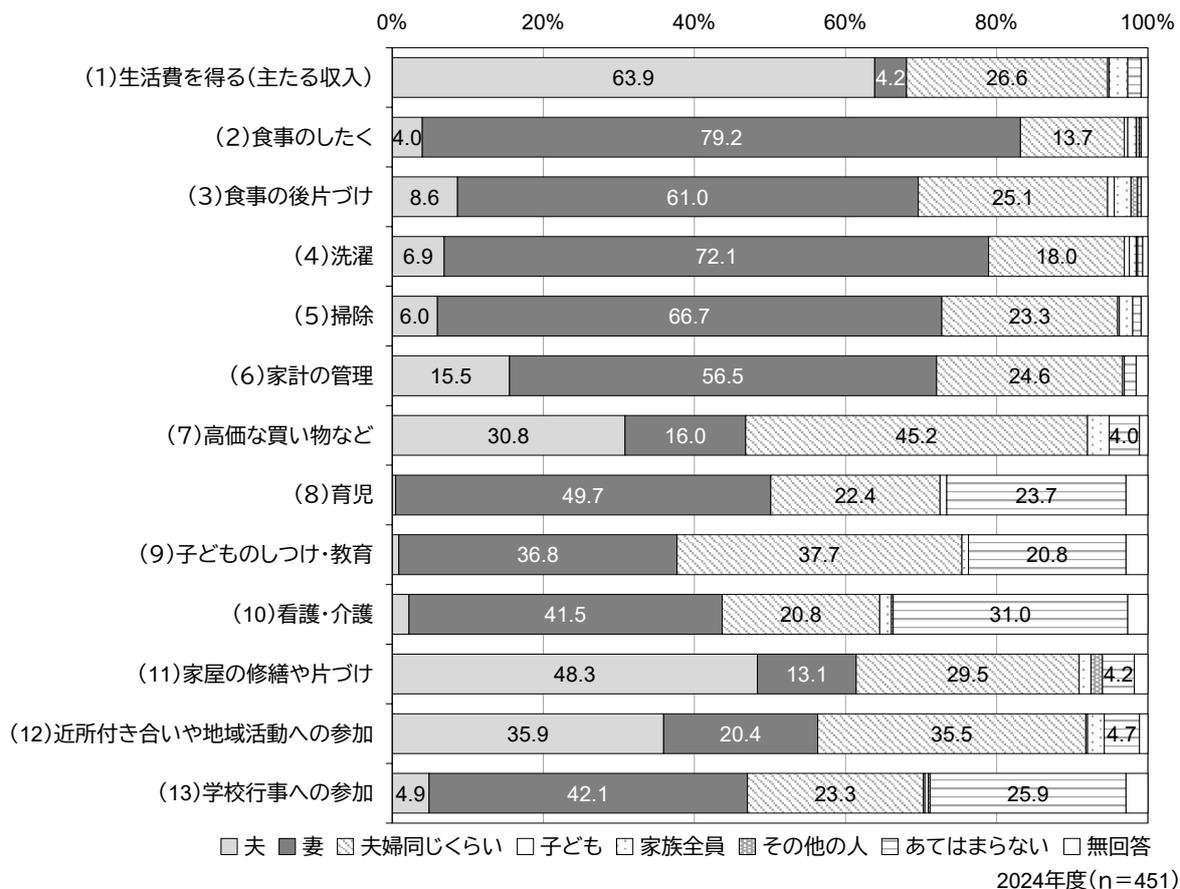


2 家庭生活について（問2～問4）

問2. あなたの家庭では、以下の家庭内の役割について、それぞれ主にだれが担っていますか。（それぞれ1つに○）

【現在、結婚（事実婚・パートナーがいる場合を含む）している場合】

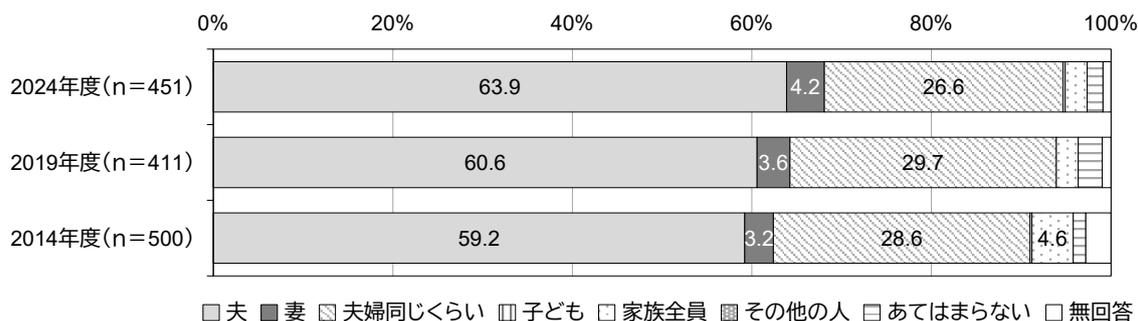
◆「生活費を得る」など3項目は「夫」、「食事のしたく」「洗濯」など8項目は「妻」、「高価な買い物」など2項目は「夫婦同じくらい」が最も高い



(1) 生活費を得る（主たる収入）

◆「夫」が6割以上で最も高く、次いで「夫婦同じくらい」が約3割

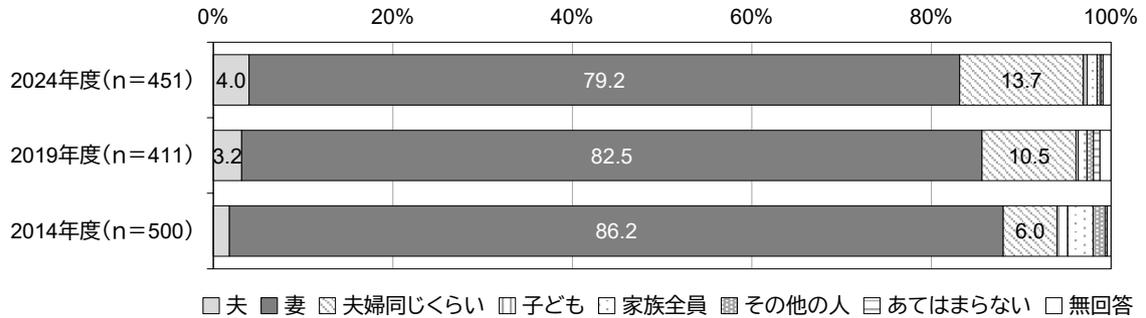
◆過去2回の調査と同様の傾向



(2) 食事のしたく

◆「妻」が約8割で最も高く、次いで「夫婦同じくらい」が1割以上

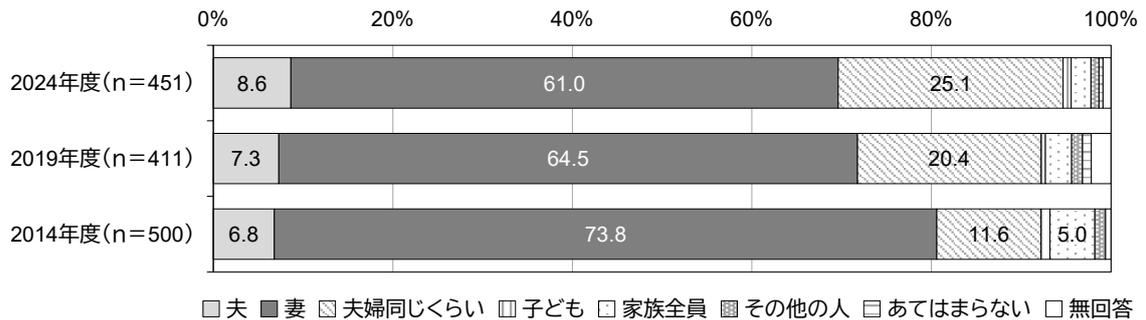
◆過去2回の調査と同様の傾向



(3) 食事の後片づけ

◆「妻」が6割以上で最も高く、次いで「夫婦同じくらい」が2割以上

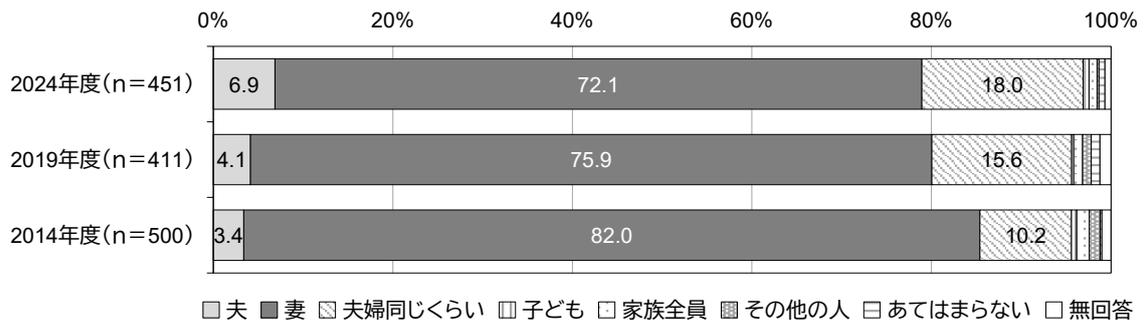
◆「夫婦同じくらい」が高くなる傾向



(4) 洗濯

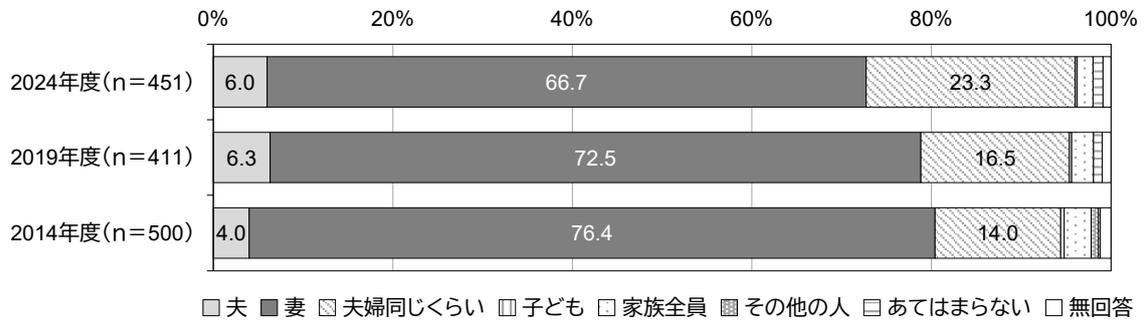
◆「妻」が7割以上で最も高く、次いで「夫婦同じくらい」が約2割

◆過去2回の調査と同様の傾向



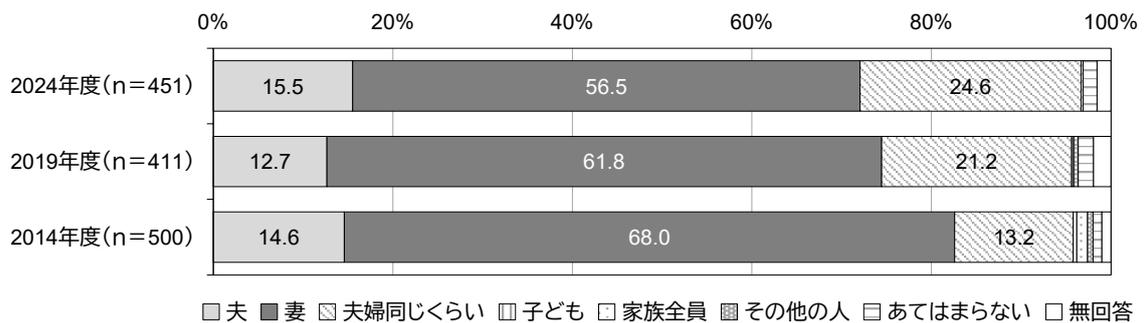
(5) 掃除

- ◆ 「妻」が約7割で最も高く、次いで「夫婦同じくらい」が2割以上
- ◆ 「妻」が低くなり、「夫婦同じくらい」が高くなる傾向



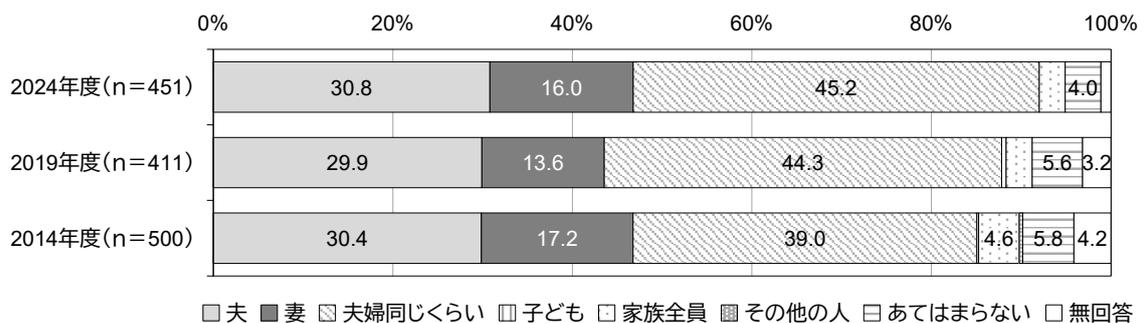
(6) 家計の管理

- ◆ 「妻」が約6割で最も高く、次いで「夫婦同じくらい」が2割以上
- ◆ 「妻」が低くなり、「夫婦同じくらい」が高くなる傾向



(7) 高価な買い物など

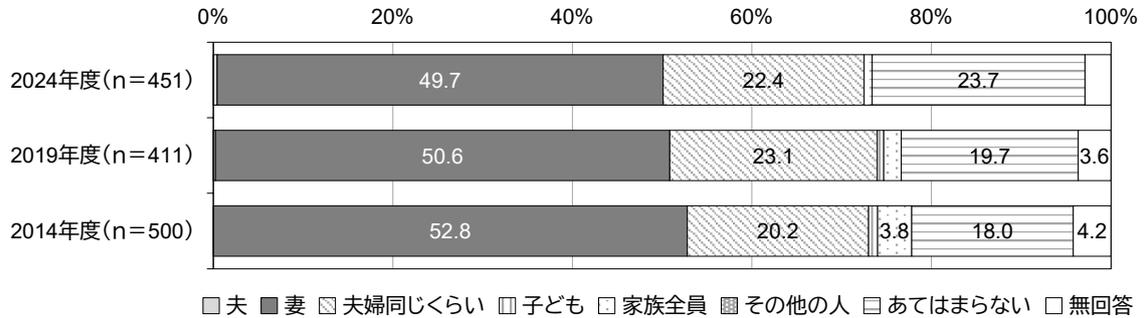
- ◆ 「夫婦同じくらい」が4割以上で最も高く、次いで「夫」が3割以上
- ◆ 過去2回の調査と同様の傾向



(8) 育児

◆「妻」が約5割で最も高く、次いで「夫婦同じくらい」が2割以上

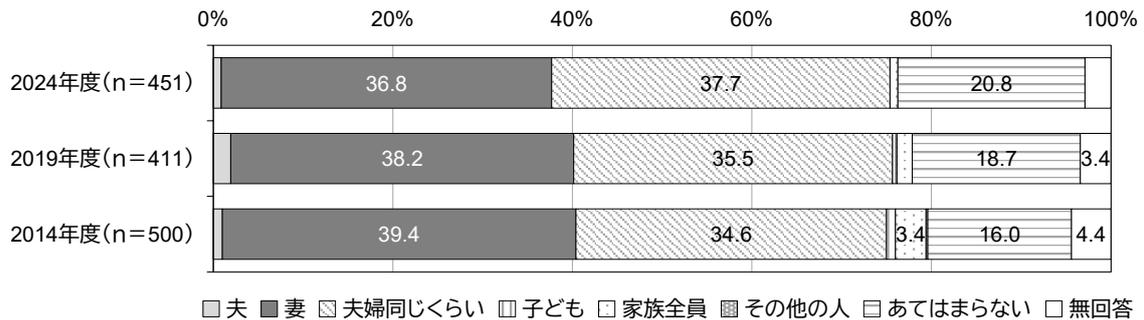
◆過去2回の調査と同様の傾向



(9) 子どものしつけ・教育

◆「夫婦同じくらい」「妻」が約4割で同程度に高い

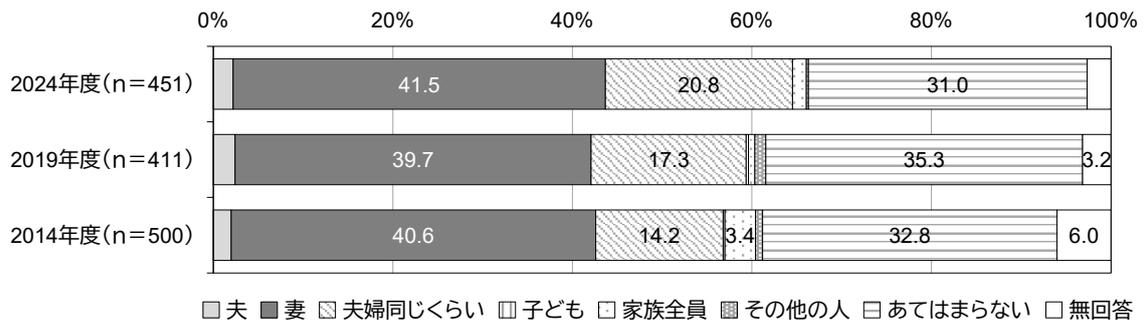
◆過去2回の調査と同様の傾向



(10) 看護・介護

◆「妻」が4割以上で最も高く、次いで「夫婦同じくらい」が2割以上

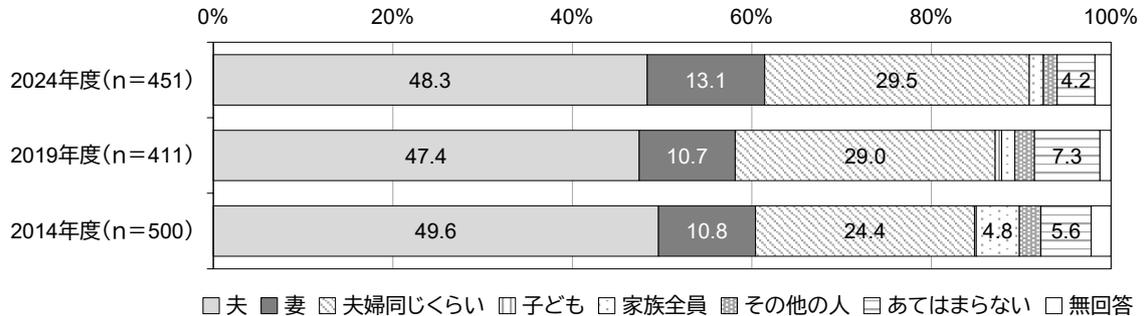
◆過去2回の調査と同様の傾向



(11) 家屋の修繕や片づけ

◆「夫」が約5割で最も高く、次いで「夫婦同じくらい」が約3割

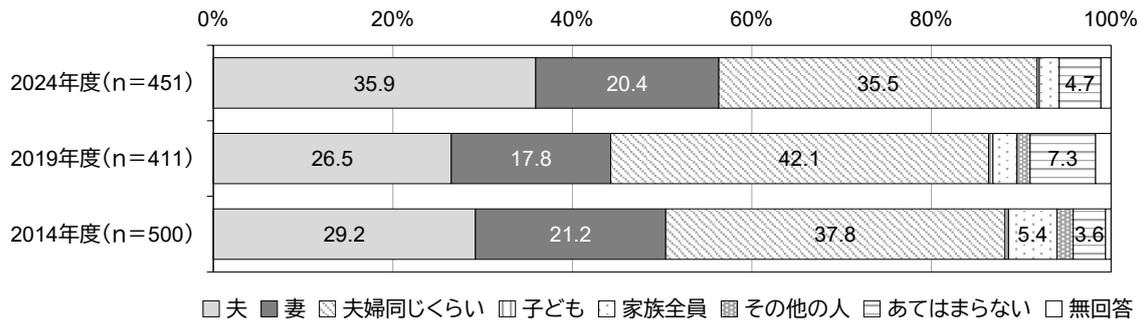
◆過去2回の調査と同様の傾向



(12) 近所付き合いや地域活動への参加

◆「夫」「夫婦同じくらい」が3割以上で同程度に高い

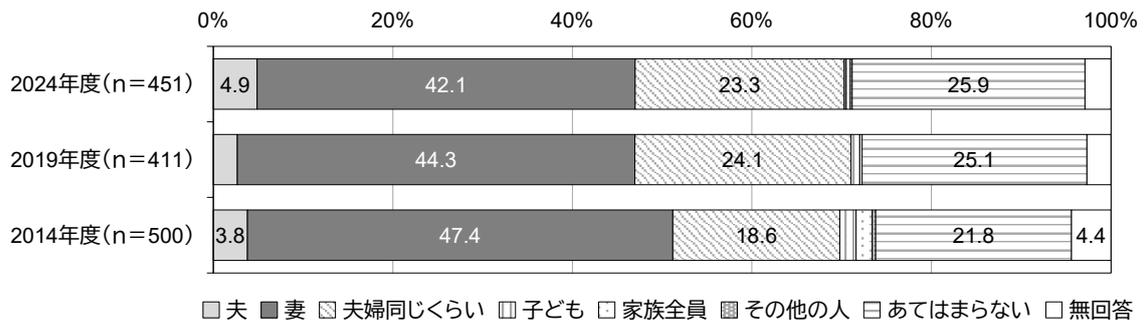
◆前回調査より「夫」が高く、「夫婦同じくらい」が低い



(13) 学校行事への参加

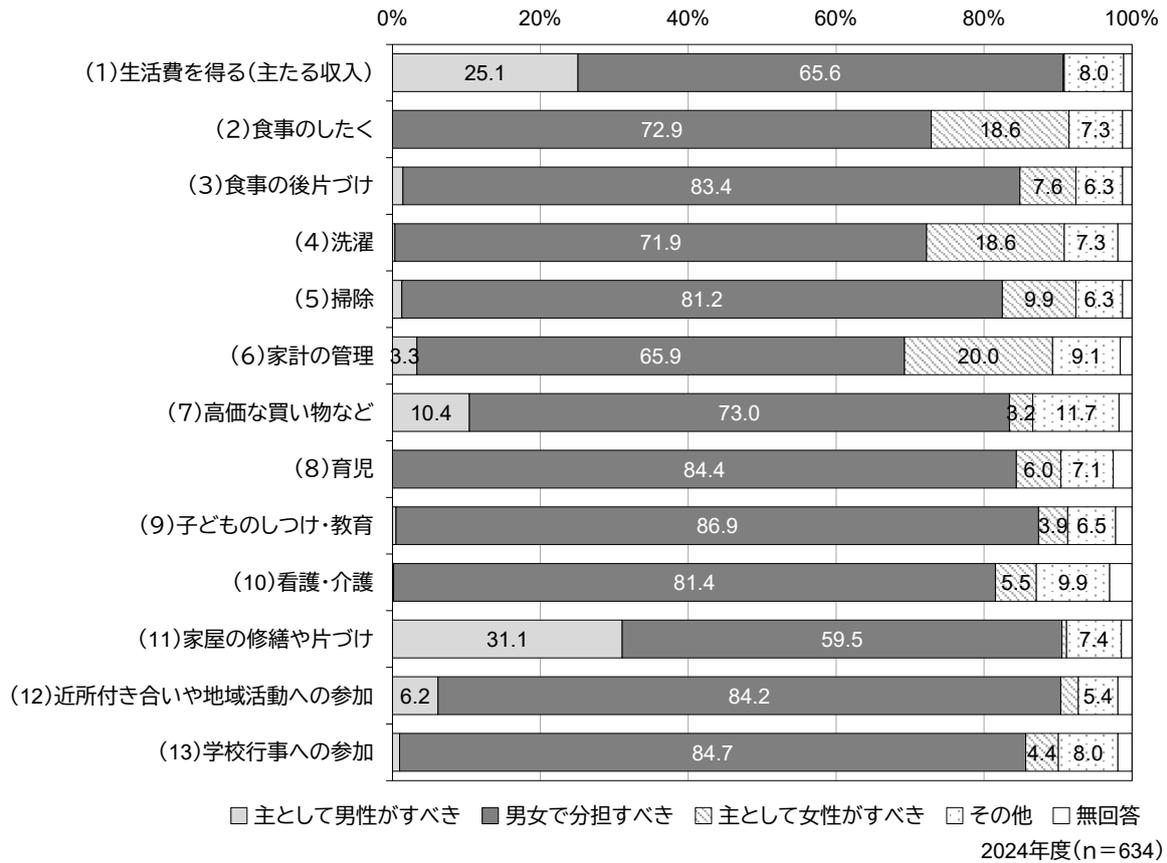
◆「妻」が4割以上で最も高く、次いで「夫婦同じくらい」が2割以上

◆過去2回の調査と同様の傾向



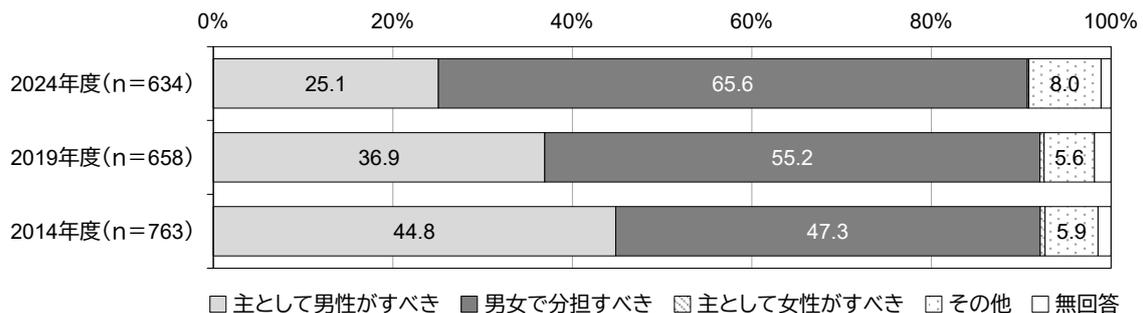
問3. あなたは、次の家庭内の役割について、どのように分担するのが理想だと思いますか。(それぞれ1つに○)

- ◆いずれの項目も「男女で分担すべき」が特に高く、「子どものしつけ・教育」では約9割で最も高い
- ◆「生活費を得る」「家屋の修繕や片づけ」は「主として男性がすべき」が約3割、「食事のしたく」「洗濯」「家計の管理」は「主として女性がすべき」が約2割で比較的高い



(1) 生活費を得る (主たる収入)

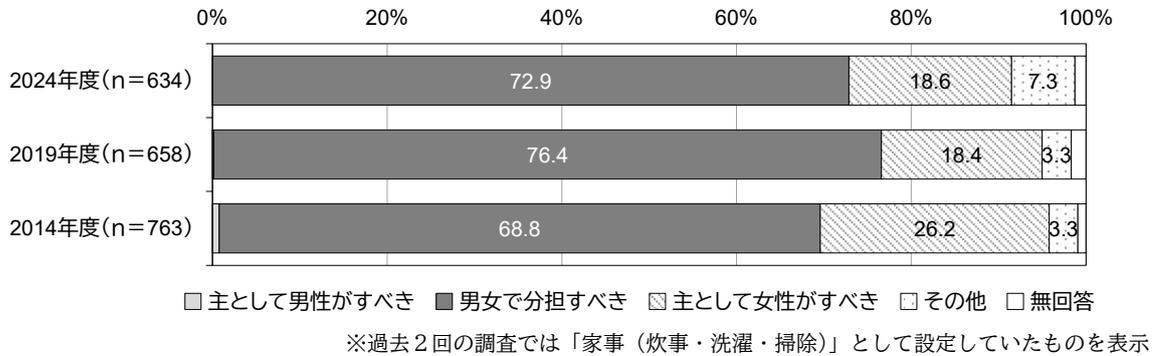
- ◆「男女で分担すべき」が6割以上で最も高く、次いで「主として男性がすべき」が2割以上
- ◆「男女で分担すべき」が高くなり、「主として男性がすべき」が低くなる傾向



(2) 食事のしたく

◆「男女で分担すべき」が7割以上で最も高く、次いで「主として女性がすべき」が約2割で、「主として男性がすべき」の回答はみられない

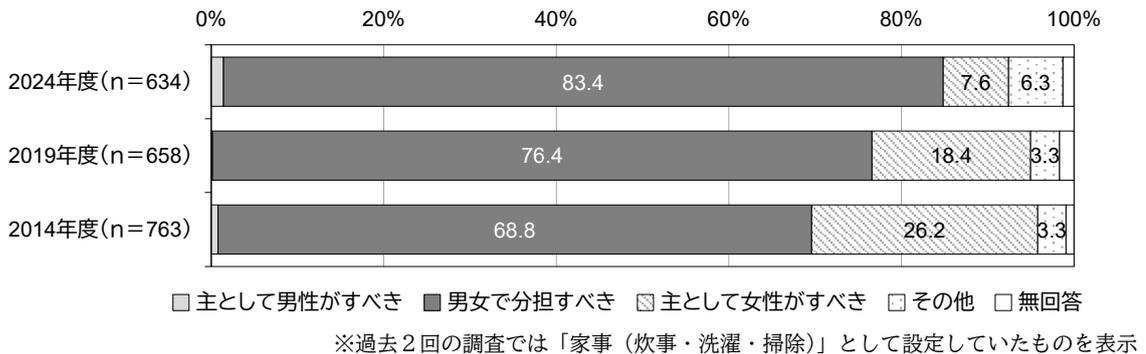
◆過去2回の調査と同様の傾向



(3) 食事の後片づけ

◆「男女で分担すべき」が8割以上で最も高く、次いで「主として女性がすべき」が約1割

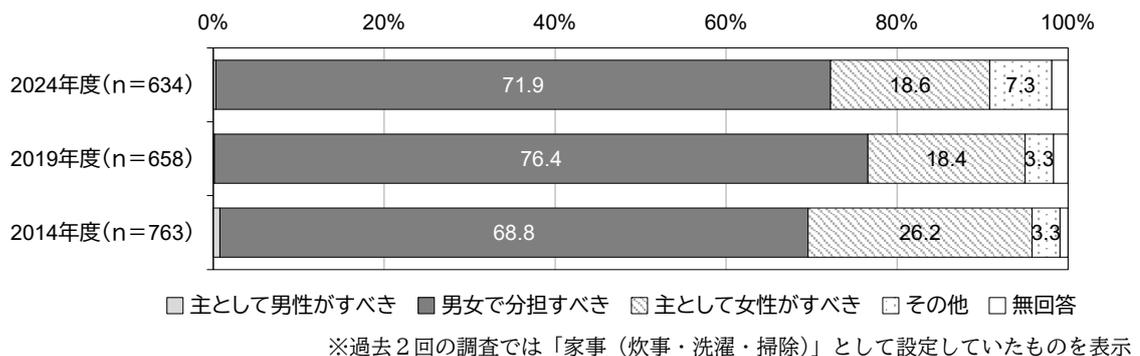
◆「男女で分担すべき」が高くなり、「主として女性がすべき」が低くなる傾向



(4) 洗濯

◆「男女で分担すべき」が7割以上で最も高く、次いで「主として女性がすべき」が約2割

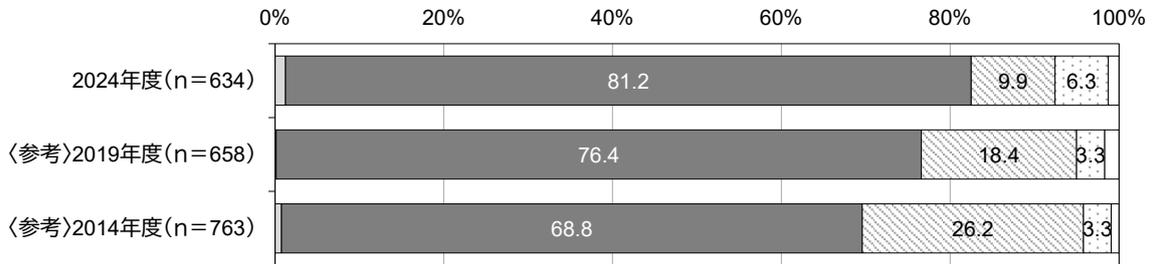
◆過去2回の調査と同様の傾向



(5) 掃除

◆「男女で分担すべき」が8割以上で最も高く、次いで「主として女性がすべき」が約1割

◆「男女で分担すべき」が高くなり、「主として女性がすべき」が低くなる傾向



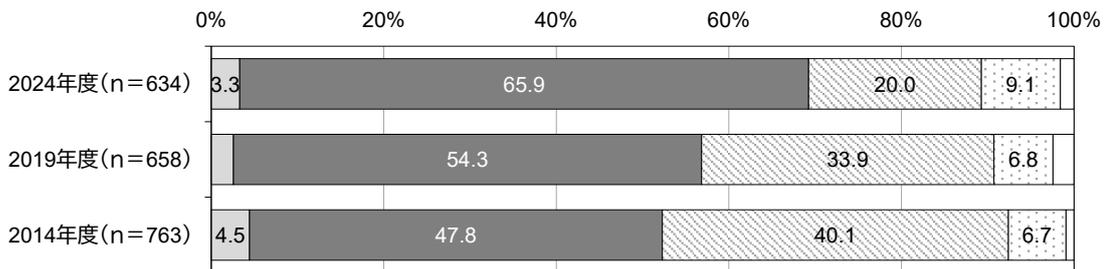
□ 主として男性がすべき ■ 男女で分担すべき ▨ 主として女性がすべき □ その他 □ 無回答

※過去2回の調査では「家事（炊事・洗濯・掃除）」として設定していたものを表示

(6) 家計の管理

◆「男女で分担すべき」が6割以上で最も高く、次いで「主として女性がすべき」が2割以上

◆「男女で分担すべき」が高くなり、「主として女性がすべき」が低くなる傾向

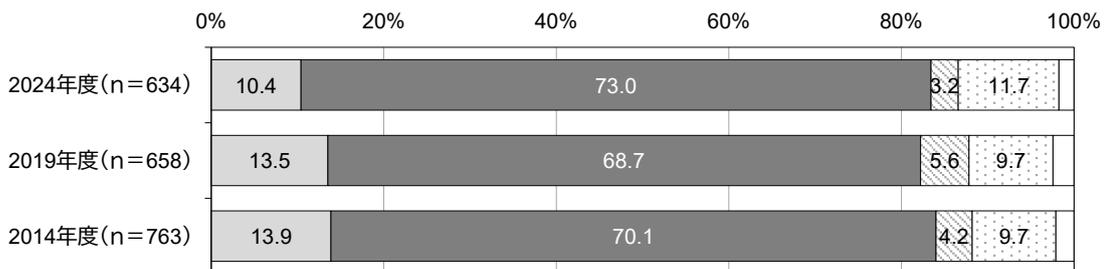


□ 主として男性がすべき ■ 男女で分担すべき ▨ 主として女性がすべき □ その他 □ 無回答

(7) 高価な買い物など

◆「男女で分担すべき」が7割以上で最も高く、次いで「主として男性がすべき」が1割以上

◆過去2回の調査と同様の傾向

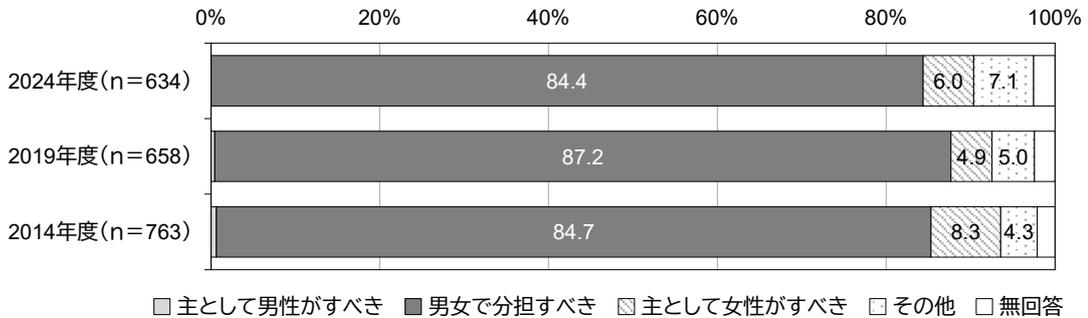


□ 主として男性がすべき ■ 男女で分担すべき ▨ 主として女性がすべき □ その他 □ 無回答

(8) 育児

◆「男女で分担すべき」が8割以上で最も高く、次いで「主として女性がすべき」が約1割で、「主として男性がすべき」の回答はみられない

◆過去2回の調査と同様の傾向

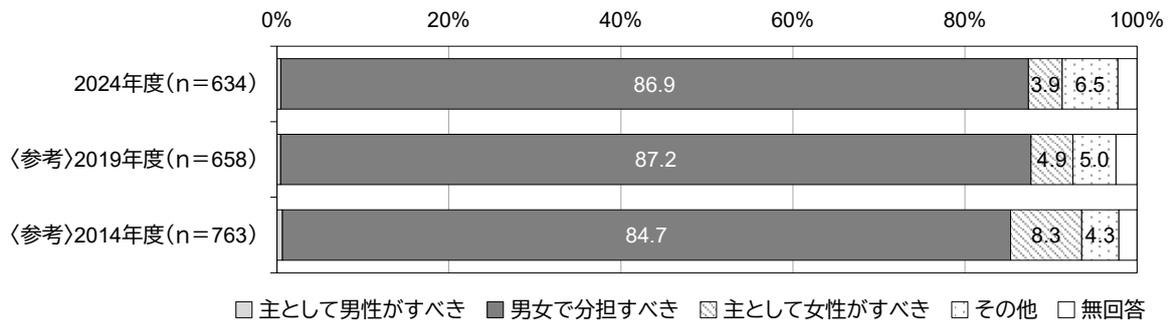


※過去2回の調査では「育児・しつけ・教育」として設定していたものを表示

(9) 子どものしつけ・教育

◆「男女で分担すべき」が約9割で最も高い

◆過去2回の調査と同様の傾向

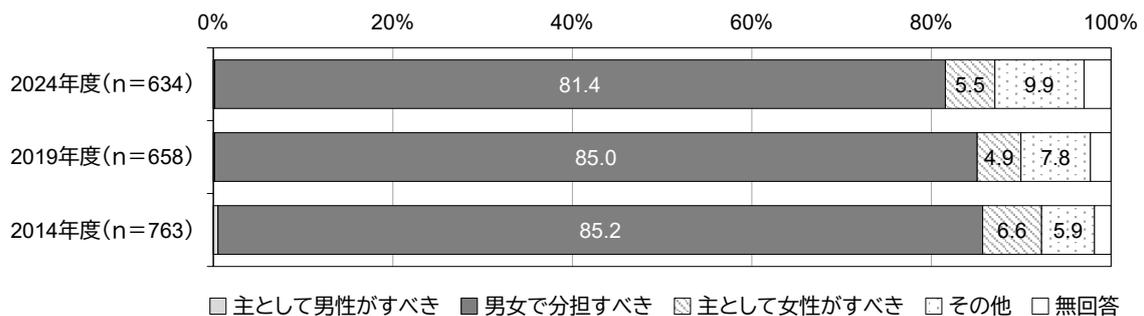


※過去2回の調査では「育児・しつけ・教育」として設定していたものを表示

(10) 看護・介護

◆「男女で分担すべき」が8割以上で最も高い

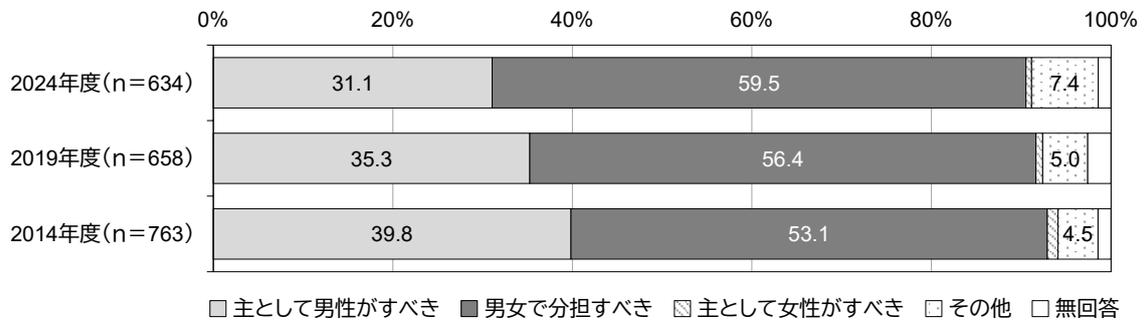
◆過去2回の調査と同様の傾向



(11) 家屋の修繕や片づけ

◆「男女で分担すべき」が6割以上で最も高く、次いで「主として男性がすべき」が3割以上

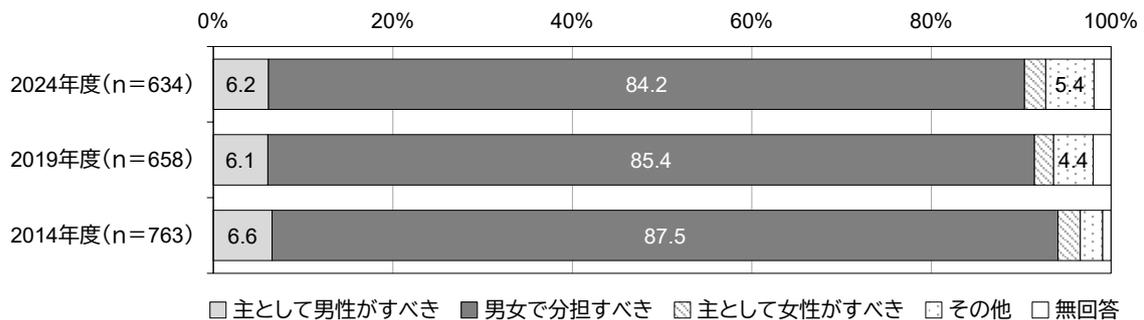
◆過去2回の調査と同様の傾向



(12) 近所付き合いや地域活動への参加

◆「男女で分担すべき」が8割以上で最も高い

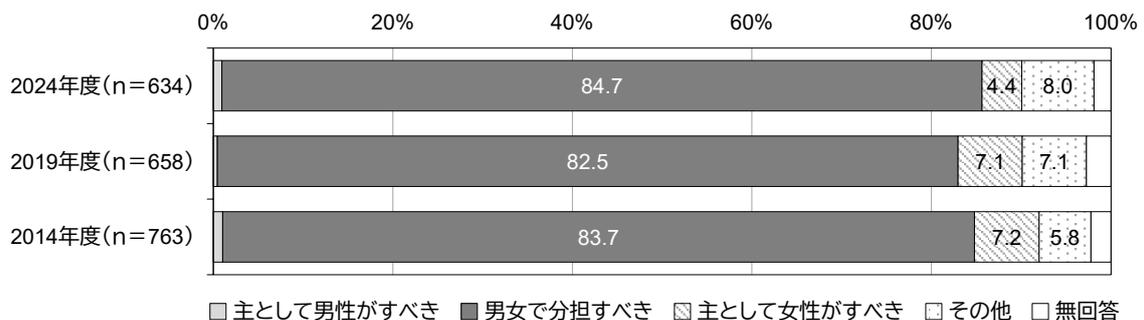
◆過去2回の調査と同様の傾向



(13) 学校行事への参加

◆「男女で分担すべき」が8割以上で最も高い

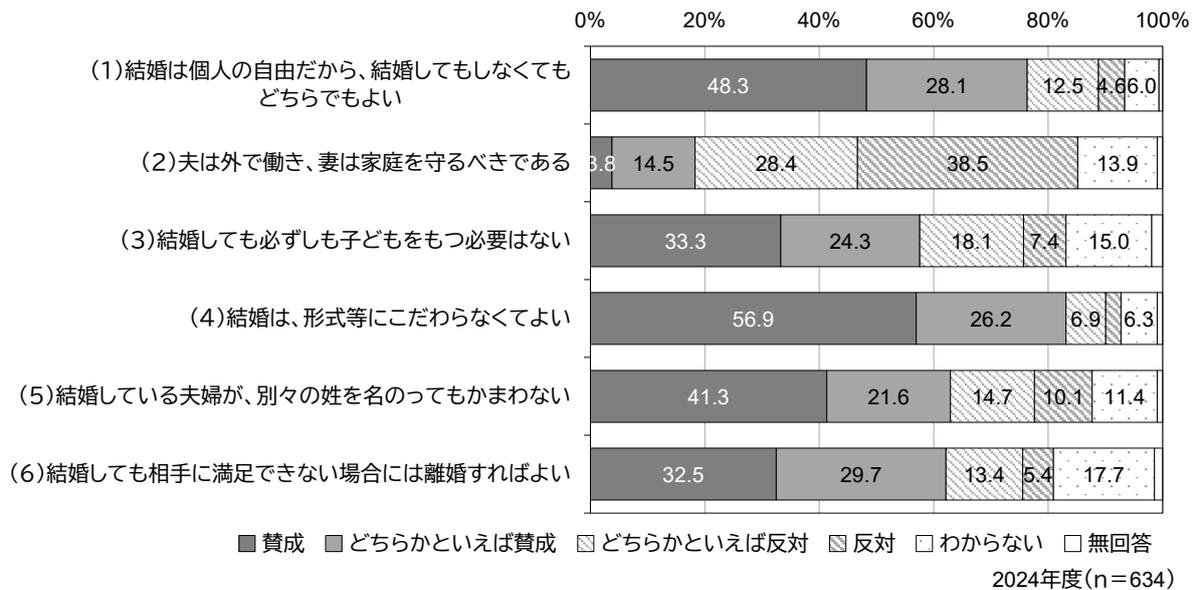
◆過去2回の調査と同様の傾向



問4. あなたは、結婚や家庭観についてどう考えますか。それぞれについて、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(それぞれ1つに○)

◆「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」は「反対」が最も高く、合計値『反対』※1が約7割

◆他の項目はいずれも「賛成」が最も高く、「結婚は形式等にこだわらなくてよい」は合計値『賛成』※2が8割以上で特に高い

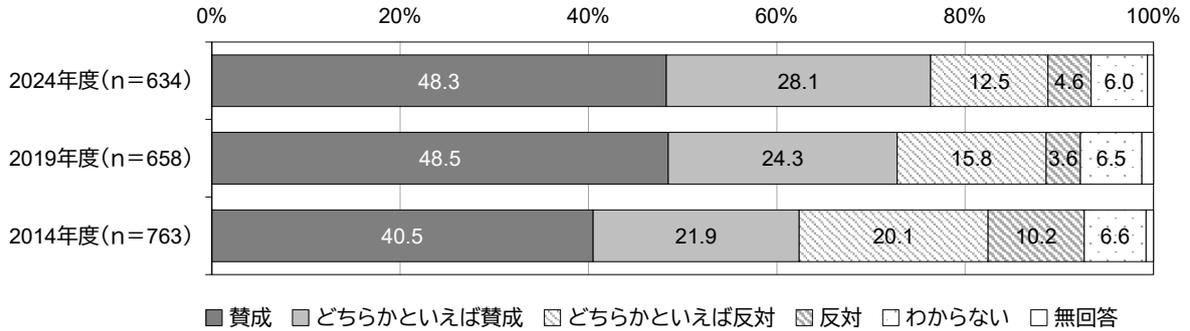


※1 「どちらかといえば反対」「反対」の合計値

※2 「賛成」「どちらかといえば賛成」の合計値

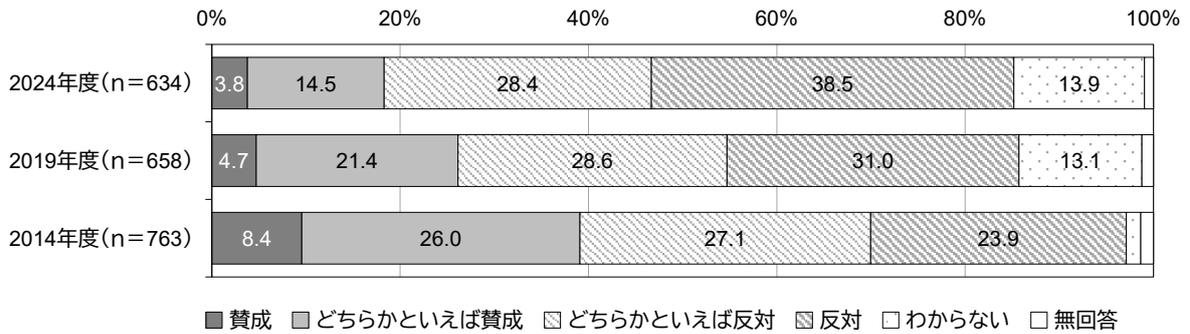
(1) 結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもどちらでもよい

◆合計値『賛成』が7割以上で、高くなる傾向



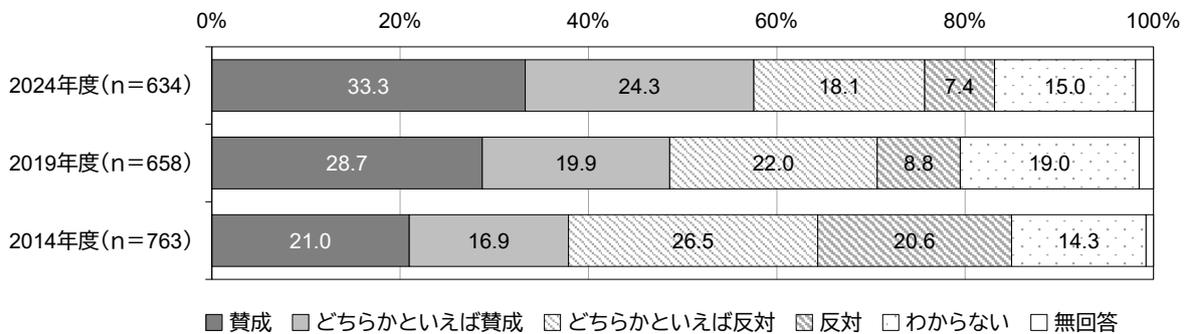
(2) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

◆合計値『反対』が約7割で、高くなる傾向



(3) 結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない

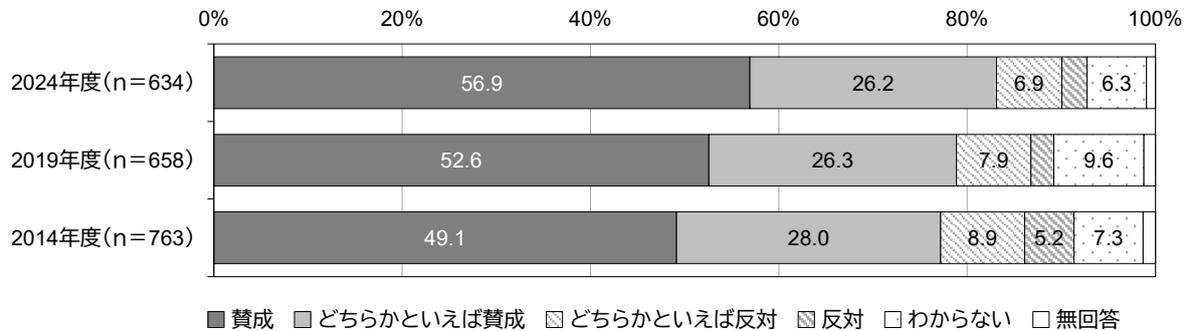
◆合計値『賛成』が約6割で、高くなる傾向



(4) 結婚は、形式等にこだわらなくてよい

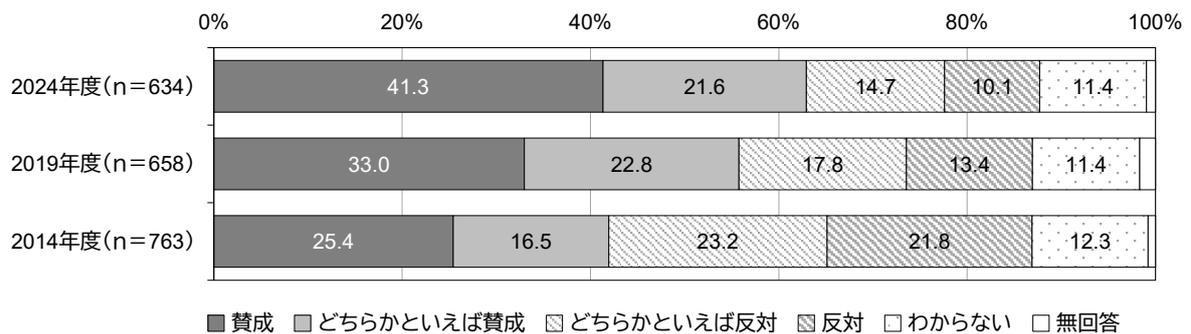
◆合計値『賛成』が8割以上

◆過去2回の調査と同様の傾向



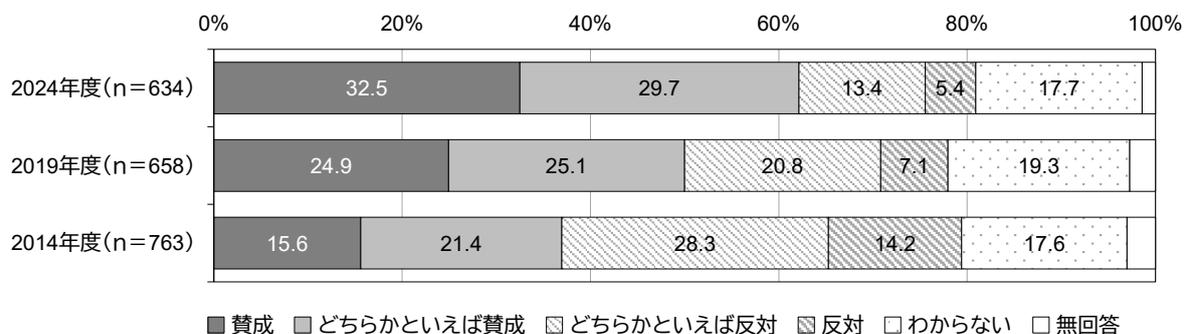
(5) 結婚している夫婦が、別々の姓を名のってもかまわない

◆合計値『賛成』が6割以上で、高くなる傾向



(6) 結婚しても相手に満足できない場合には離婚すればよい

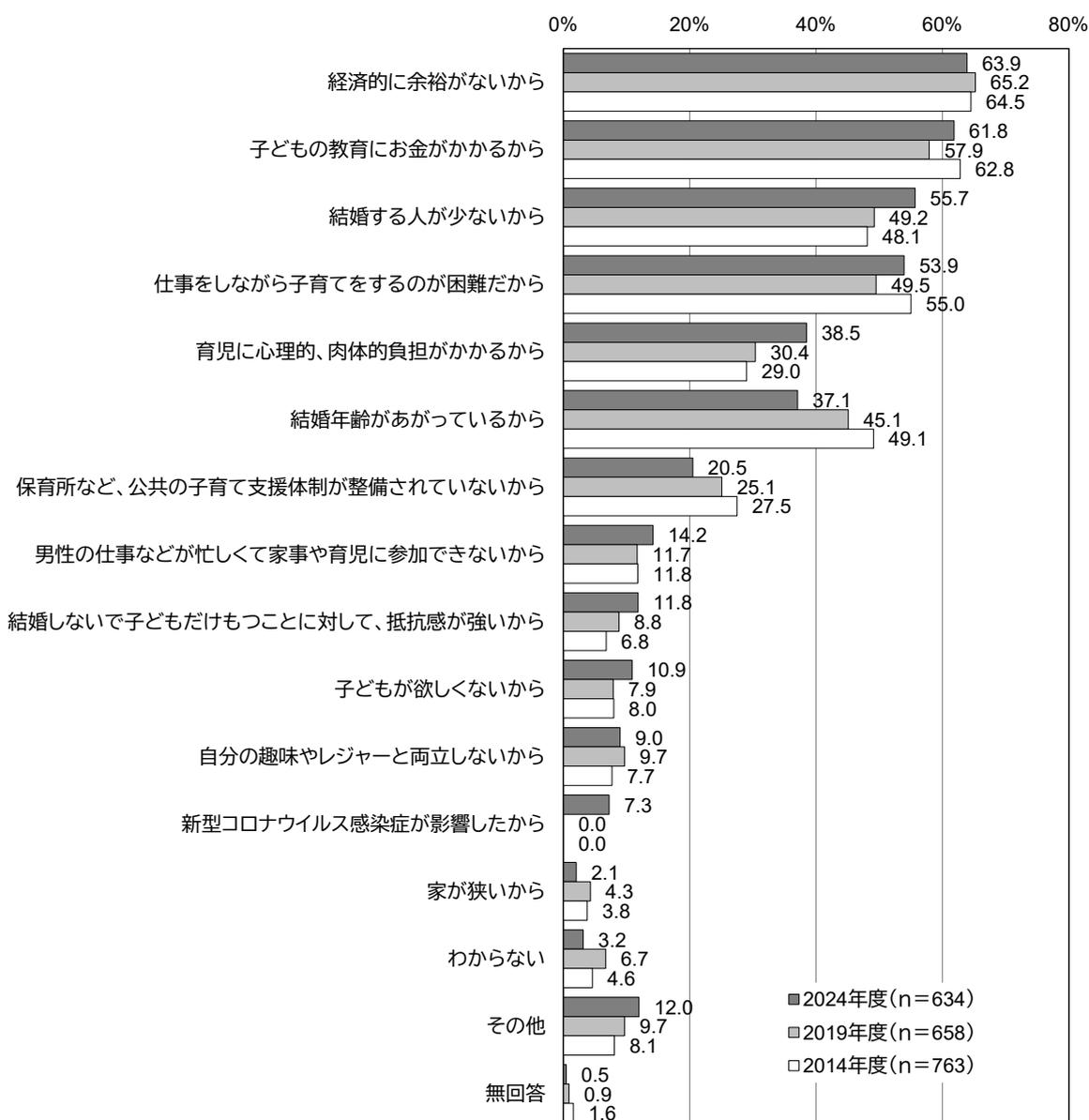
◆合計値『賛成』が6割以上で、高くなる傾向



3 子育てや介護について（問5～問9）

問5. 沼田市の出生率低下の理由は、どのようなことだと思いますか。（○はいくつでも）

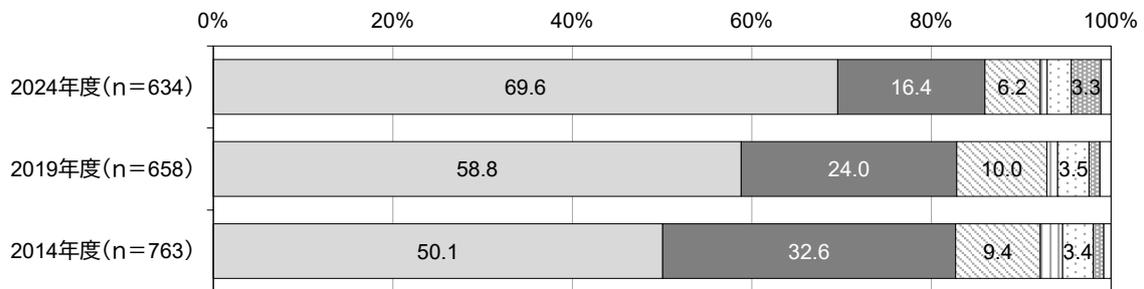
- ◆「経済的に余裕がない」「子どもの教育にお金がかかる」の2項目が6割以上、次いで「結婚する人が少ない」「仕事をしながら子育てをするのが困難」の2項目が5割以上
- ◆「結婚年齢があがっているから」は低くなる傾向



※問文の前に、「全国的に少子化が進む中、沼田市においても出生率が年々低下し、平成23（2011）年に367人だった出生数は、令和3（2021）年には188人に減っています。」と表示

問6. あなたは、父親の育児参加について、どのようにお考えですか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(1つだけに○)

◆「父親も母親と分担して、積極的に育児をするのがよい」が約7割で最も高く、高くなる傾向

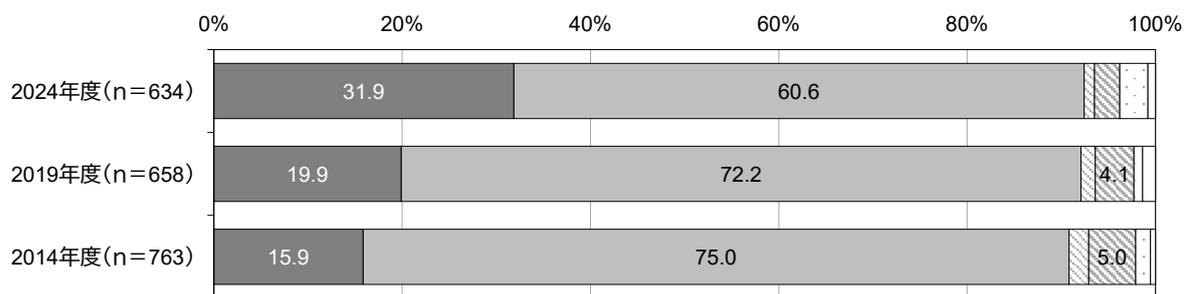


- 父親も母親と育児を分担して、積極的に育児をするのがよい
- 父親は時間の許す範囲内で育児をすればよい
- 父親はできるかぎり育児をするのがよい
- 父親は外で働き、母親が育児に専念するのがよい
- わからない
- その他
- 無回答

問7. あなたは、男性の育児・介護休業の取得について、どのようにお考えですか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(1つだけに○)

◆「賛成だが、取得しやすい環境が整っていない」が6割以上で最も高く、次いで「積極的に取得する方がよい」が3割以上

◆「積極的に取得する方がよい」が高くなる傾向



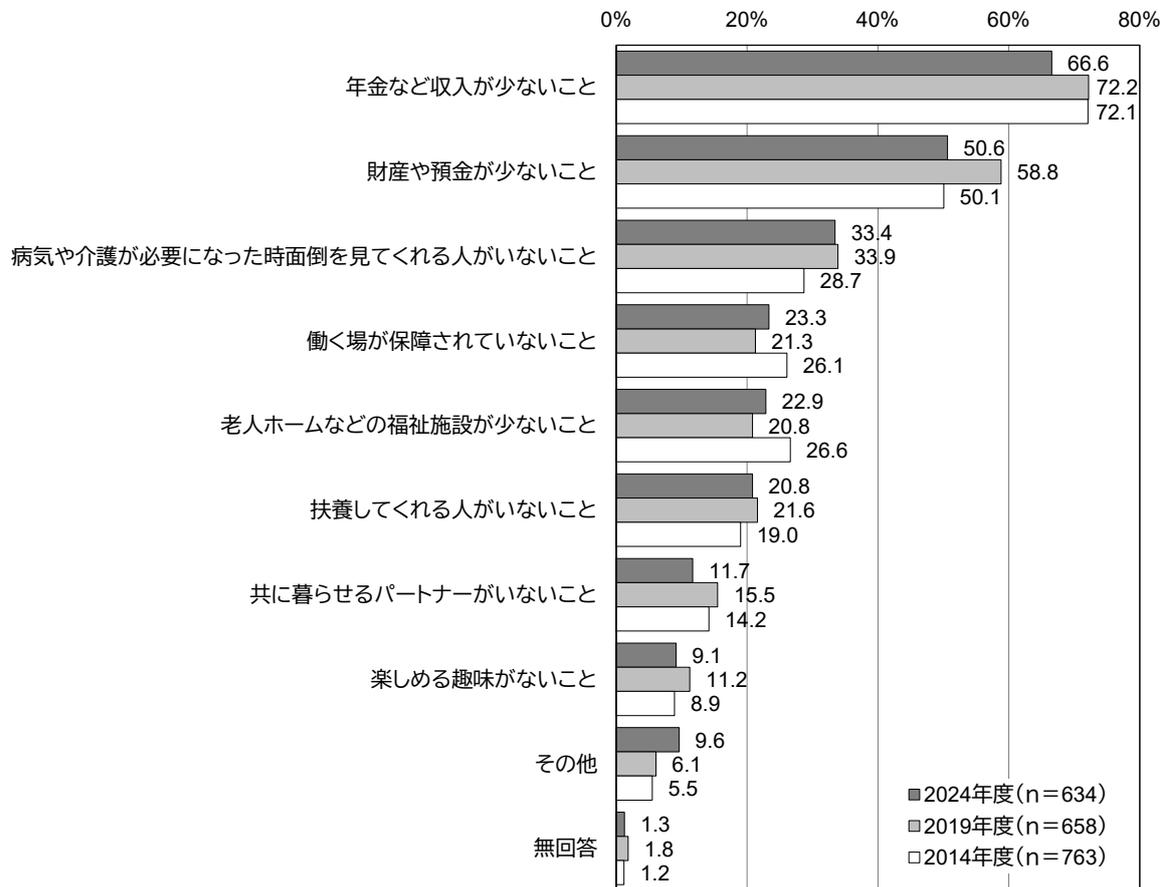
- 男性も育児・介護休業を積極的に取得する方がよいと思う
- 男性も育児・介護休業を取ることは賛成だが、取得しやすい環境が整っていないと思う
- 育児・介護は女性がすべきであり、男性が取得する必要はないと思う
- わからない
- その他
- 無回答

※問文の前に、「育児や介護を行うために、育児休業や介護休業を取得できる制度が「育児・介護休業法」により定められています。」と表示

問8. あなたは、老後の生活にどのような不安を感じますか。(〇はいくつでも)

◆「年金など収入が少ないこと」が約7割で最も高く、次いで「財産や預金が少ないこと」が5割以上

◆過去2回の調査と同様の傾向

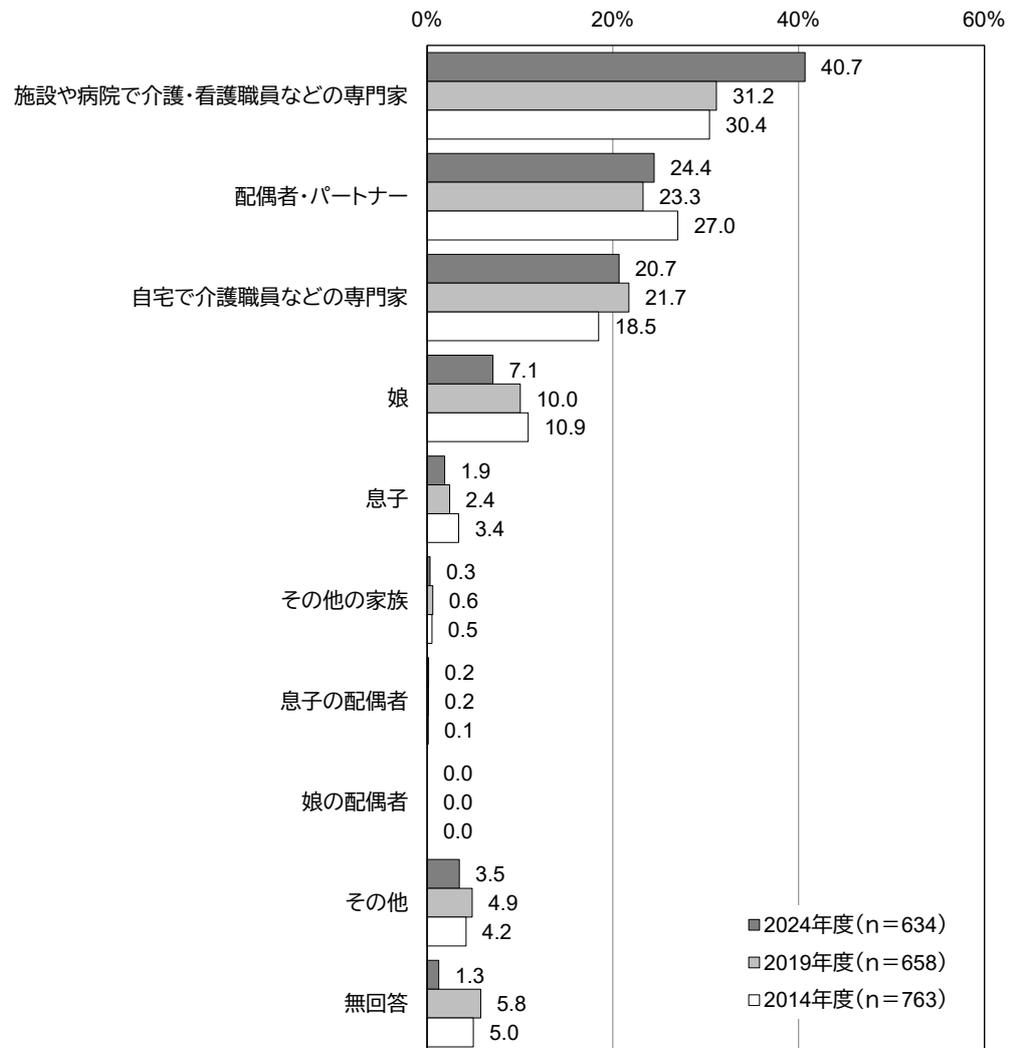


※問文の前に、「沼田市の高齢化率（総人口に対する65歳以上人口の割合）は高く、平成27（2015）年では30.6%でしたが、令和5（2023）年には35.8%と上昇を続けています。」と表示

問9. あなたは、介護が必要になった場合、誰に介護をしてもらいたいと思いますか。
(1つだけに○)

◆「施設や病院で介護・看護職員などの専門家」が4割以上、次いで「配偶者・パートナー」「自宅で介護職員などの専門家」の2項目が2割以上

◆過去2回の調査と同様の傾向



※問文の前に、「国民生活基礎調査（令和4年7月厚生労働省発表）では、介護者の約70%が女性という実態が示されています。」と表示

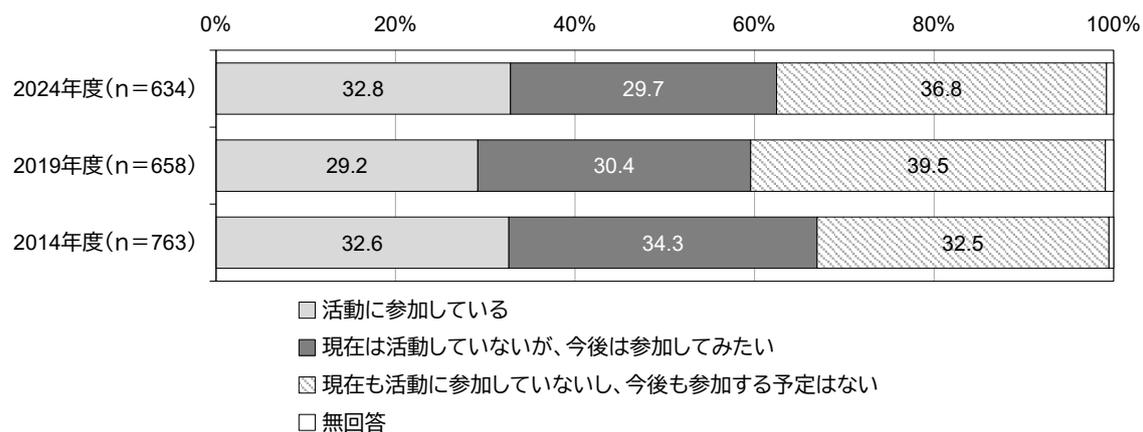
※過去2回の調査では「施設や病院での介護・看護職員などの専門家」は「施設や病院での介護」、「配偶者・パートナー」は「配偶者（夫）」と「配偶者（妻）」の別に設定していたものを合計して表示、「自宅で介護職員などの専門家」は「介護職員などの専門家」として設定していたものを参考表示

4 社会活動・地域活動について（問 10～問 12）

問 10. あなたは、現在、家庭の外で何か活動に参加していますか。また、今後してみたいと思いますか。（1つだけに○）

◆「現在参加していないし、今後も予定はない」が約4割、次いで「活動に参加している」「現在活動していないが、今後は参加してみたい」の2項目が約3割

◆合計値『参加している・してみたい』※は6割以上で、過去2回の調査と同程度

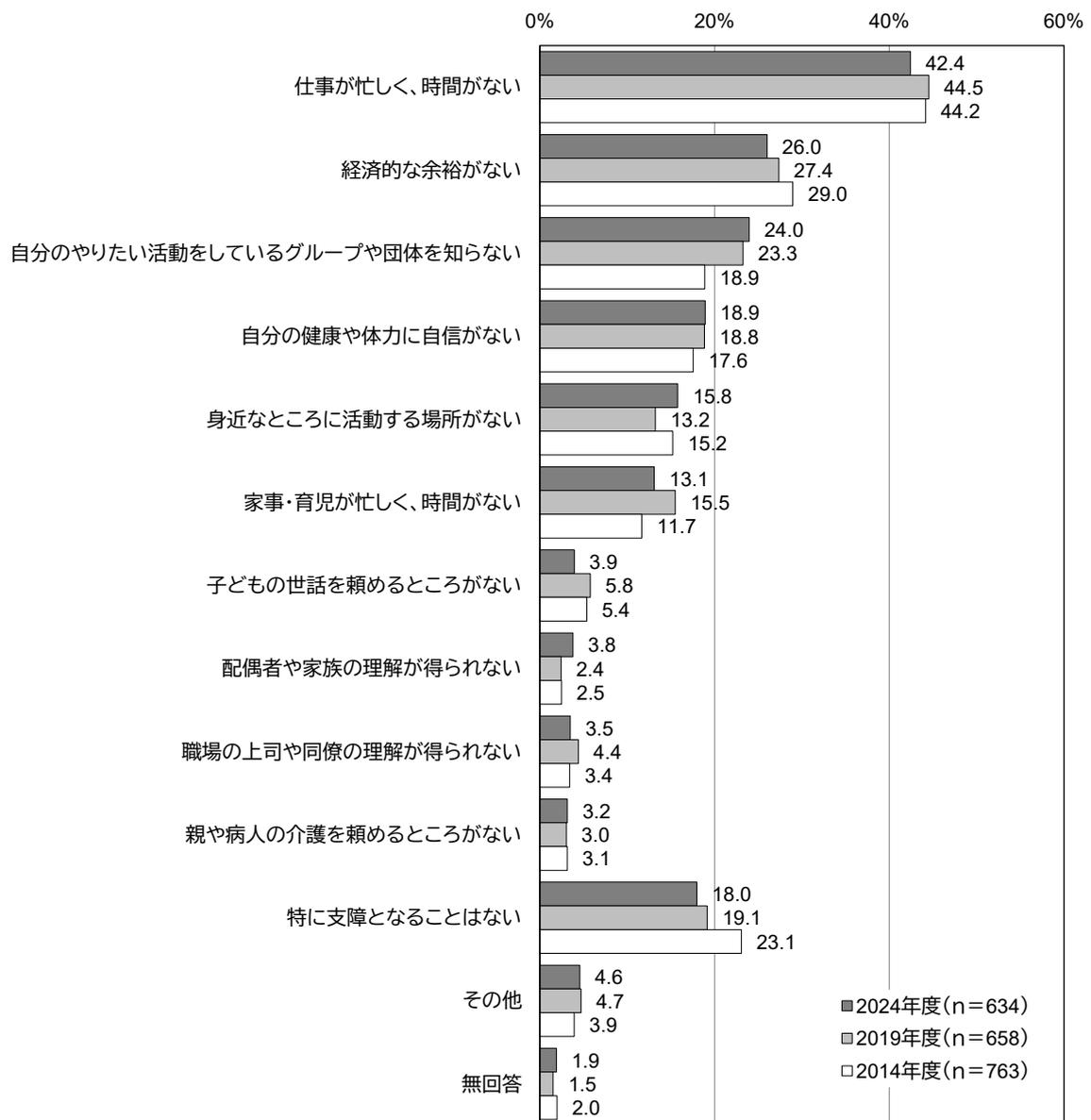


※「活動に参加している」「現在は活動していないが、今後は参加してみたい」の合計値

問 11. あなたが社会活動や地域活動に参加しようとする際に支障になっていることは何ですか。(〇はいくつでも)

◆「仕事が忙しく、時間がない」が4割以上で最も高く、次いで「経済的な余裕がない」「自分のやりたい活動をしているグループや団体を知らない」の2項目が2割以上

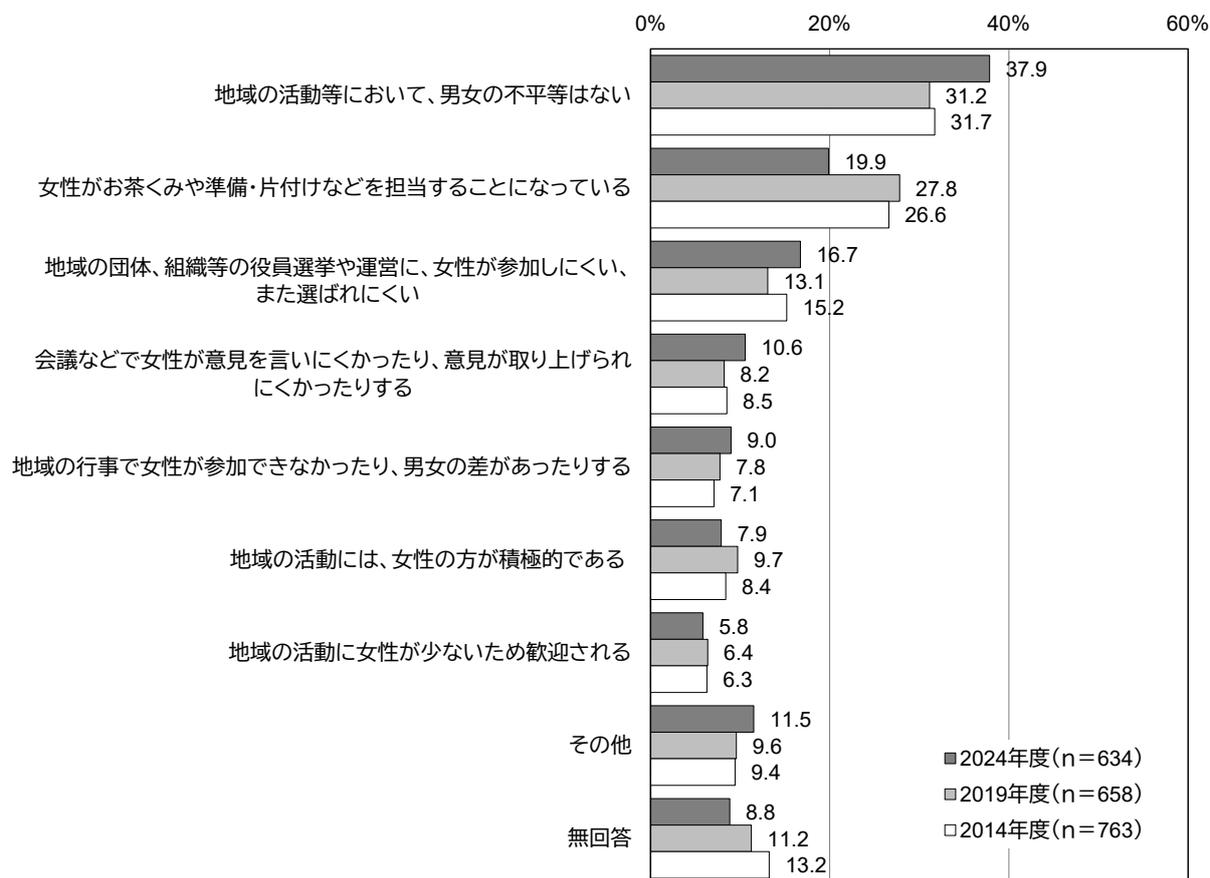
◆過去2回の調査と同様の傾向



問 12. あなたが住んでいる地域において、次のようなことがありますか。
(○はいくつでも)

◆「地域の活動等において、男女の不平等はない」が約4割で最も高く、次いで「女性がお茶くみや準備・片付けなどを担当することになっている」が約2割

◆過去2回の調査と同様の傾向

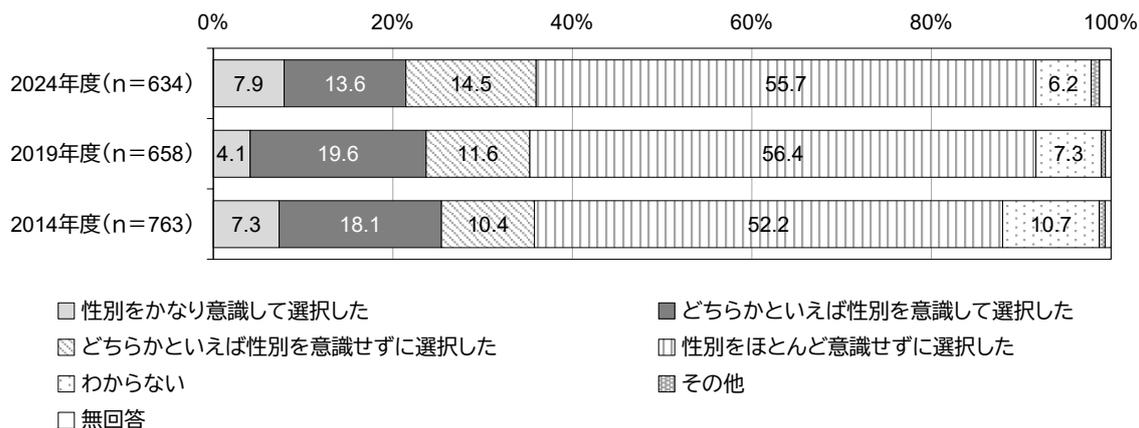


5 就労について（問 13～問 20）

問 13. あなたは、進路や職業を選択する際に、ご自分の性別を意識しましたか。
（1つだけに○）

◆「ほとんど意識せずに選択」が5割以上、次いで「どちらかといえば意識せずに選択」「どちらかといえば意識して選択」が1割以上

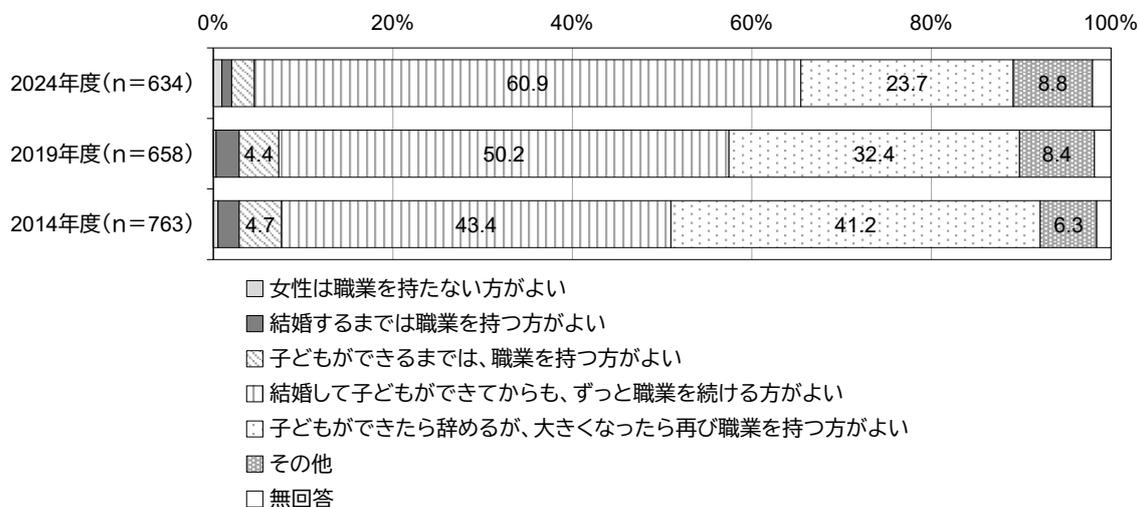
◆過去2回の調査と同様の傾向



問 14. あなたは、一般的に女性が職業を持つことについて、どう考えますか。
（1つだけに○）

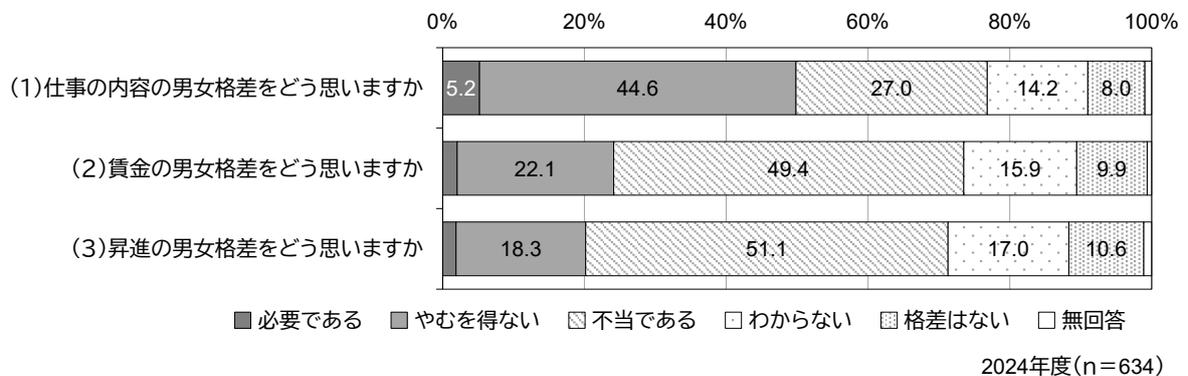
◆「ずっと職業を続ける方がよい」が6割以上で最も高く、次いで「子どもができたなら辞めるが、大きくなったら再び職業を持つ方がよい」が2割以上

◆「ずっと職業を続ける方がよい」が高くなり、「子どもができたなら辞めるが、大きくなったら再び職業を持つ方がよい」が低くなる傾向



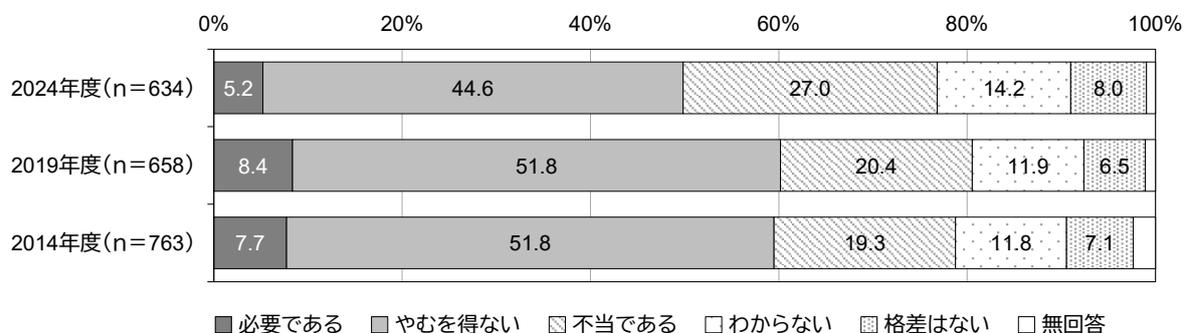
問 15. あなたは、仕事のうえでの以下のようなことについて、どう思いますか。
(それぞれ1つに○)

- ◆ 「仕事の内容の男女格差」は「やむを得ない」が4割以上で最も高い
- ◆ 「賃金の男女格差」「昇進の男女格差」は「不当である」が約5割で最も高い



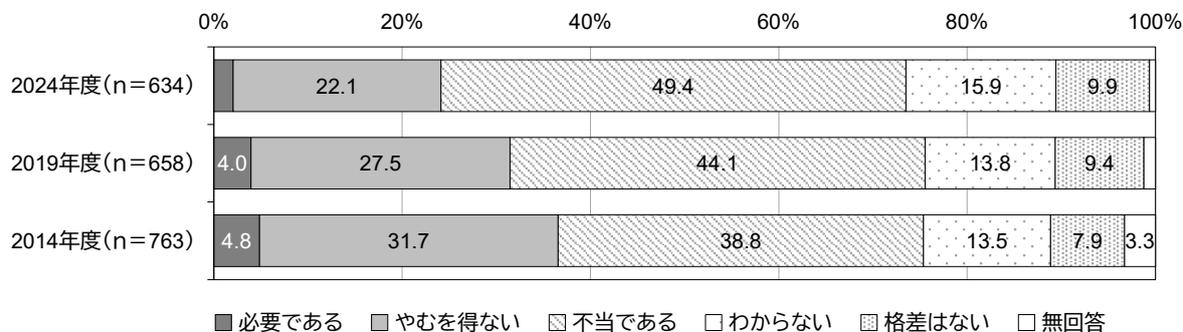
(1) 仕事の内容の男女格差をどう思いますか

- ◆ 「やむを得ない」が4割以上で最も高く、次いで「不当である」が約3割
- ◆ 過去2回の調査と同様の傾向



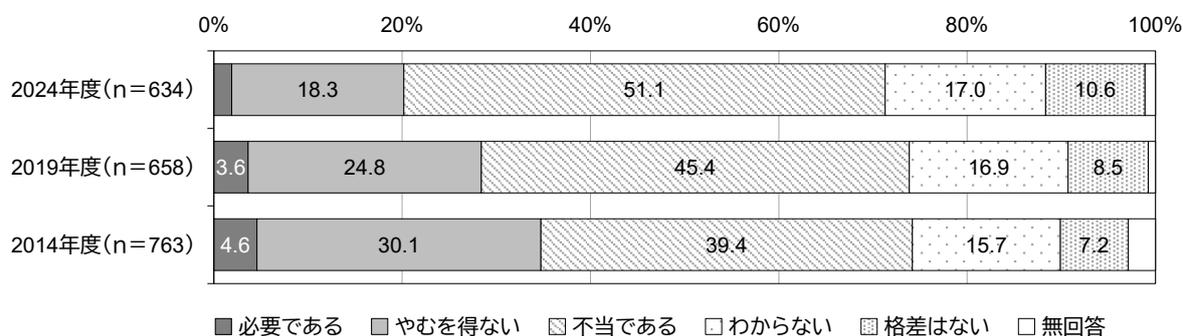
(2) 賃金の男女格差をどう思いますか

- ◆ 「不当である」が約5割で最も高く、次いで「やむを得ない」が2割以上
- ◆ 「不当である」が高くなり、「やむを得ない」が低くなる傾向



(3) 昇進の男女格差をどう思いますか

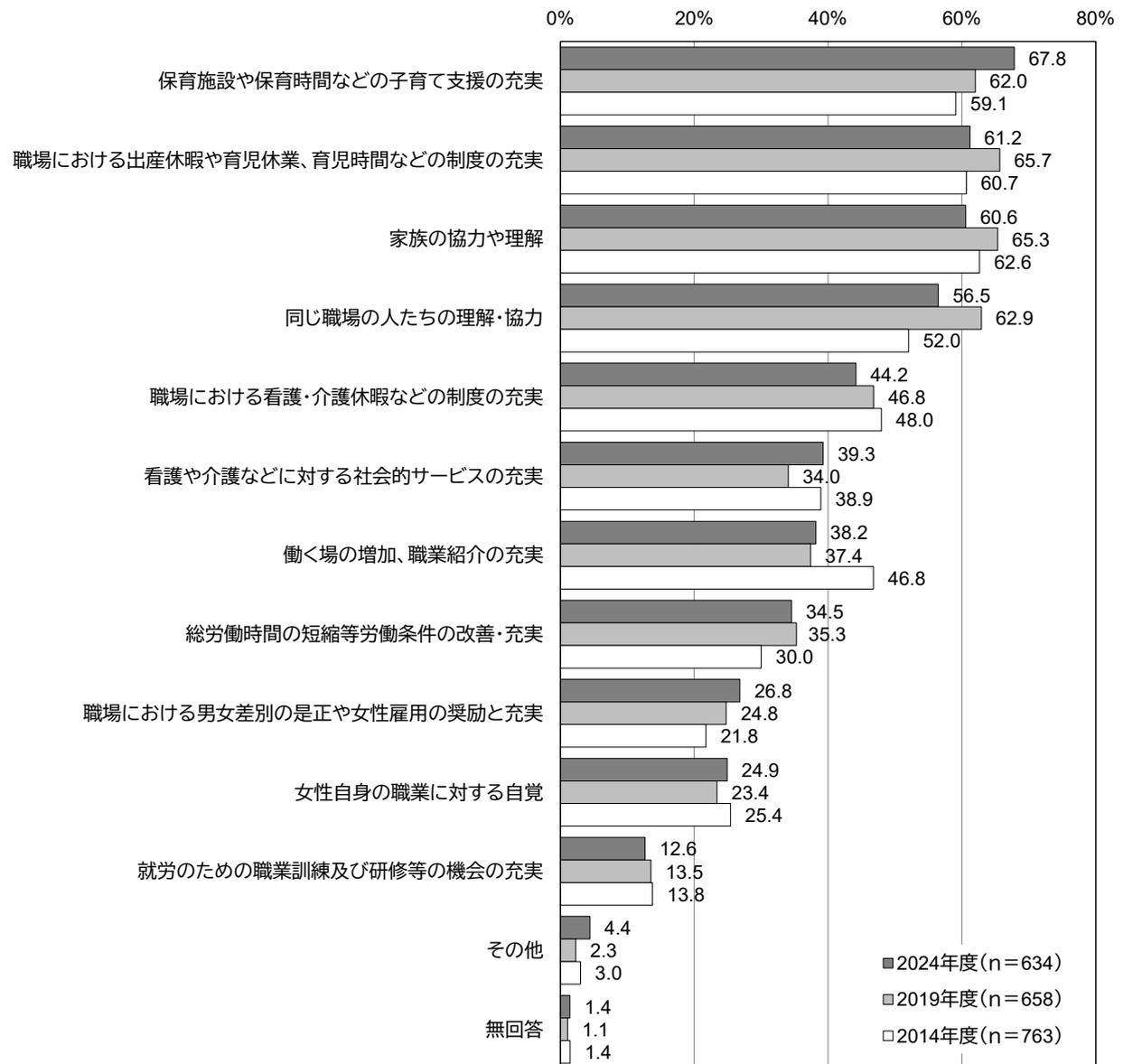
- ◆ 「不当である」が5割以上で最も高く、次いで「やむを得ない」「わからない」が約2割
- ◆ 「不当である」が高くなり、「やむを得ない」が低くなる傾向



問 16. あなたは、女性が働き続けるため、特に必要なことは何だと思いますか。
(○はいくつでも)

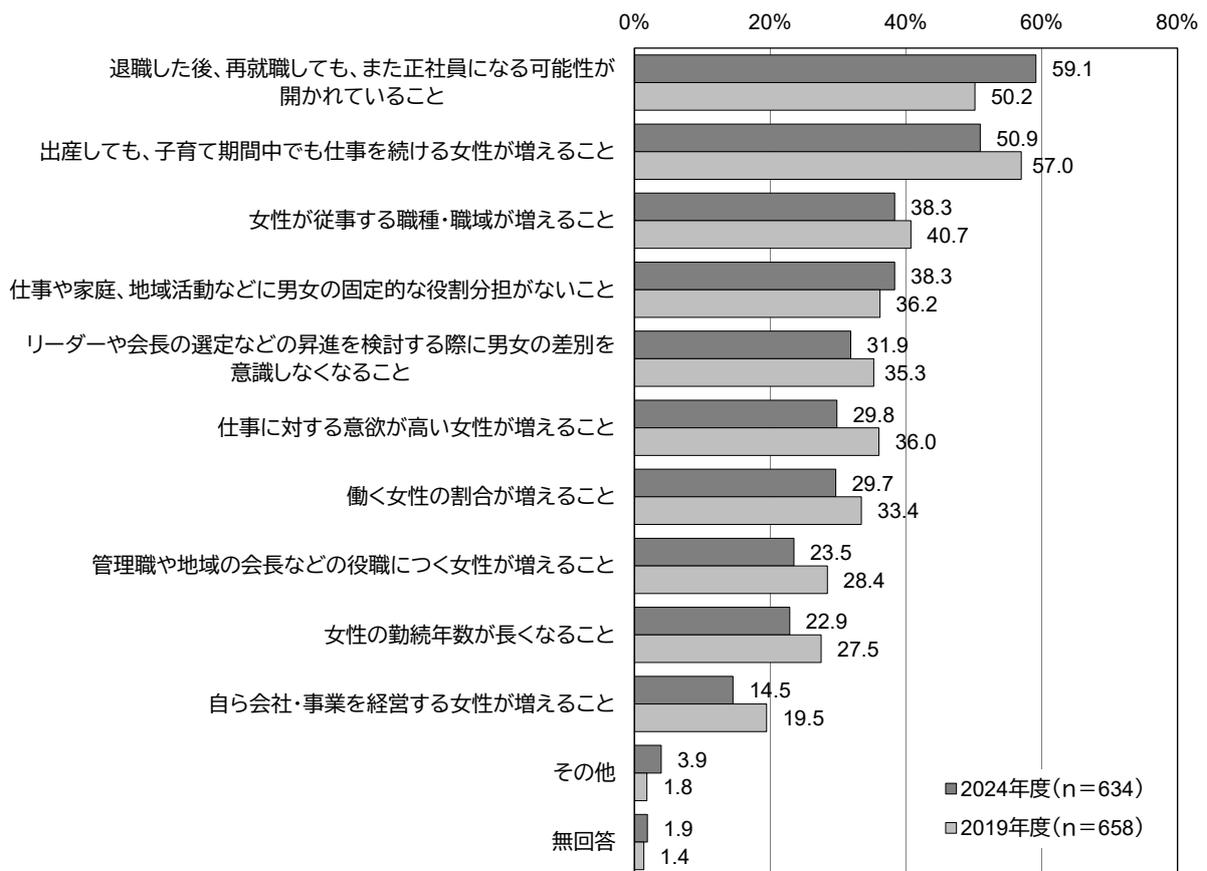
◆「保育施設や保育時間などの子育て支援の充実」が約7割で最も高く、次いで「職場における出産休暇や育児休業、育児時間などの制度の充実」「家族の協力や理解」の2項目が6割以上

◆過去2回の調査と同様の傾向



問 17. 職業生活において女性が個性と能力を発揮できる社会を目指すために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

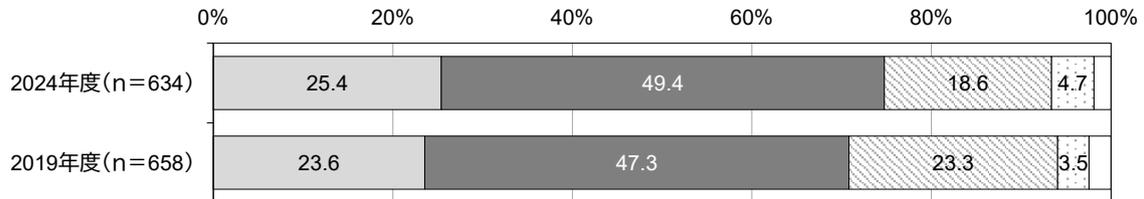
- ◆「退職した後、再就職しても、また正社員になる可能性が開かれていること」が約6割で最も高く、次いで「出産しても、子育て期間中でも仕事を続ける女性が増えること」が5割以上
- ◆前回調査より「退職した後、再就職しても、また正社員になる可能性が開かれていること」は高く、「出産しても、子育て期間中でも仕事を続ける女性が増えること」は低い



問 18. 日本の男性の働き方の現状についてどのように思いますか。(1つだけに○)

- ◆「男性の育児・家事時間等は少しずつ増やす必要がある」が約5割で最も高く、次いで「男性の育児・家事時間等が少ないので、積極的に増やす必要がある」が2割以上

◆前回調査と同様の傾向



- 男性の育児・家事時間等が少ないので、積極的に増やす必要がある
- 他国と同程度ではなくても、男性の育児・家事時間等は少しずつ増やす必要がある
- 各国の状況は違うので、ある程度の差は仕方がない
- その他
- 無回答

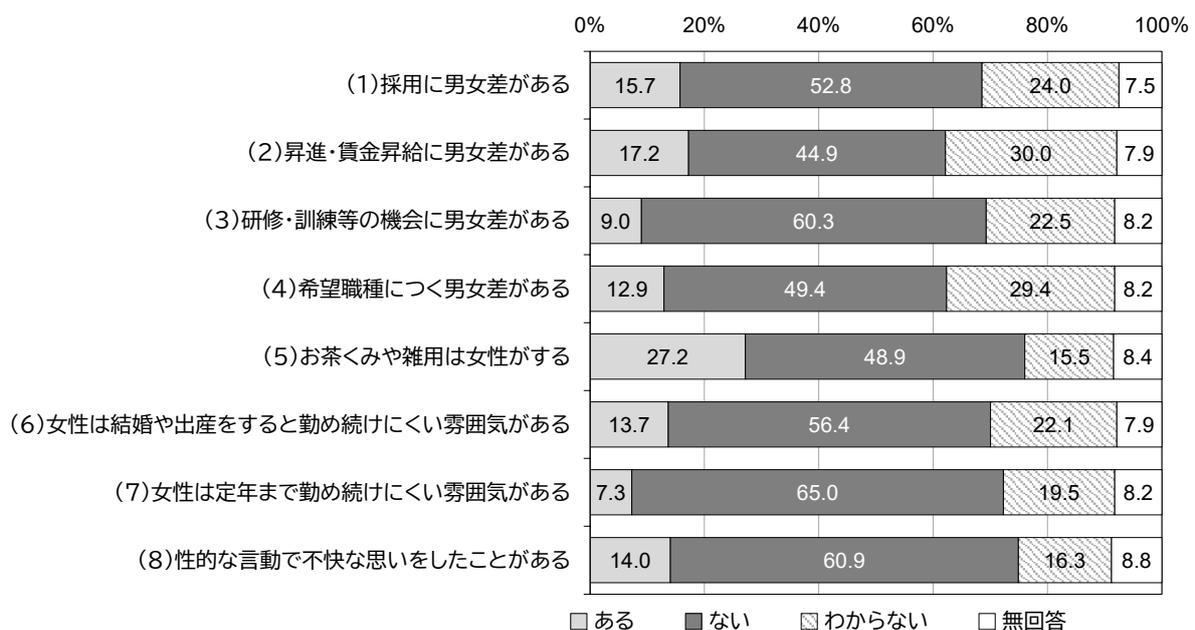
※問文の前に、「内閣府の『社会生活基本調査の国際比較』によると、男性の育児・家事関連時間が、イギリス、フランスは2時間30分以上、アメリカ、ドイツ、スウェーデン、ノルウェーは3時間以上となっている中、日本は1時間23分と少なくなっています。また、日本では男性の長時間労働や育休制度の利用が極端に少ない等の現状もあります。」と表示

問 19. あなたの職場では、次のようなことがありますか。(それぞれ1つに○)

【現在、働いている場合】

- ◆いずれの項目も「ない」が最も高く、「女性は定年まで勤め続けにくい雰囲気がある」が最も高い

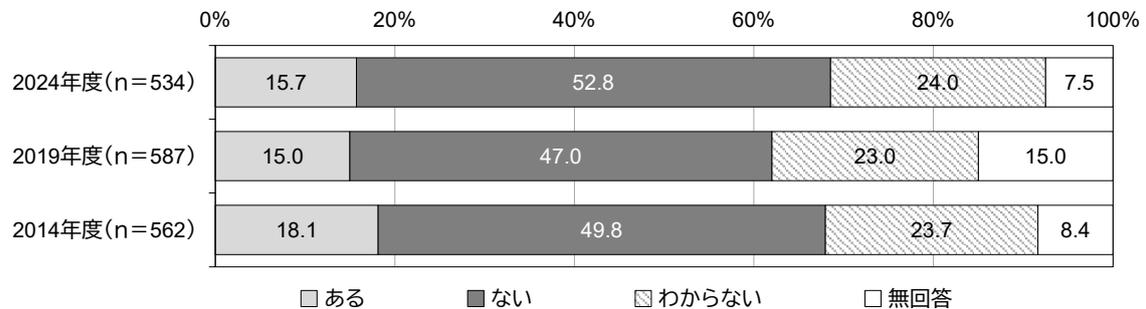
◆「お茶くみや雑用は女性がする」は「ある」が約3割で他の項目より高い



2024年度 (n=534)

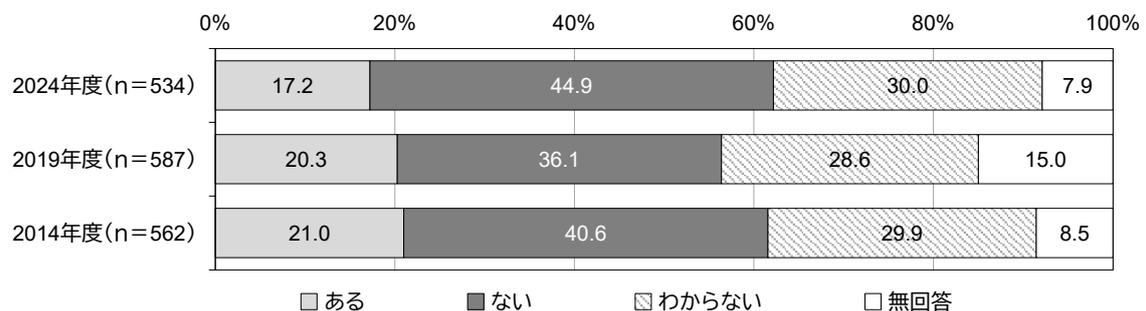
(1) 採用に男女差がある

- ◆「ない」が5割以上で最も高く、次いで「わからない」が2割以上
- ◆過去2回の調査と同様の傾向



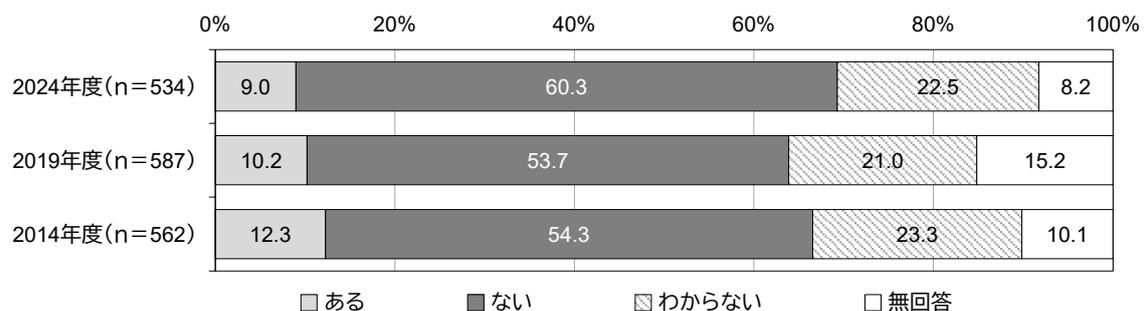
(2) 昇進・賃金昇給に男女差がある

- ◆「ない」が4割以上で最も高く、次いで「わからない」が3割以上
- ◆過去2回の調査と同様の傾向



(3) 研修・訓練等の機会に男女差がある

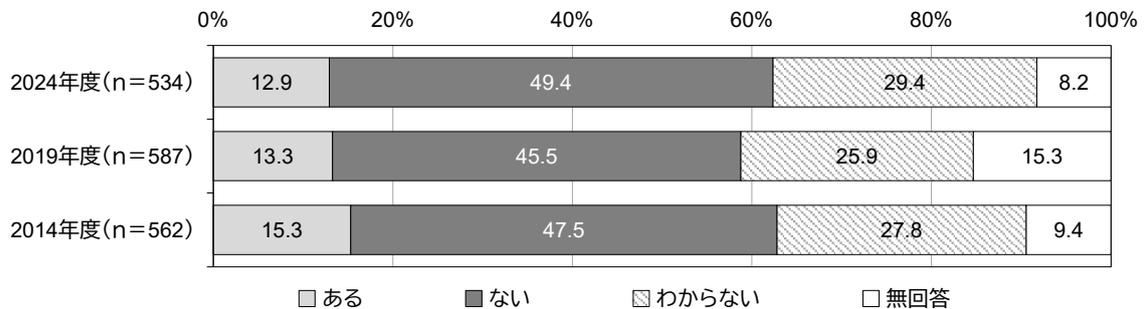
- ◆「ない」が6割以上で最も高く、次いで「わからない」が2割以上
- ◆過去2回の調査と同様の傾向



(4) 希望職種につく男女差がある

◆「ない」が約5割で最も高く、次いで「わからない」が約3割

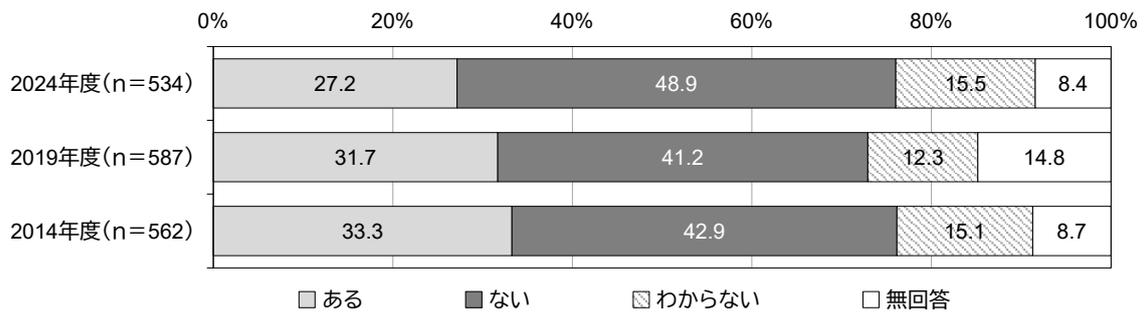
◆過去2回の調査と同様の傾向



(5) お茶くみや雑用は女性がする

◆「ない」が約5割で最も高く、次いで「ある」が約3割

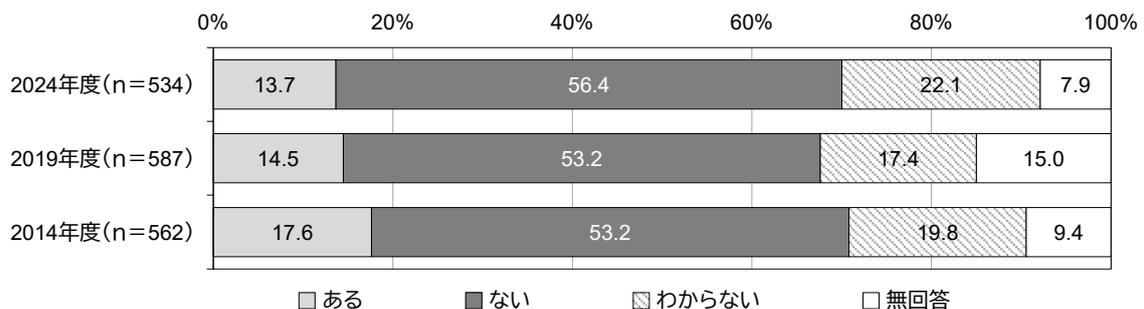
◆過去2回の調査と同様の傾向



(6) 女性は結婚や出産をすると勤め続けにくい雰囲気がある

◆「ない」が約5割で最も高く、次いで「わからない」が2割以上

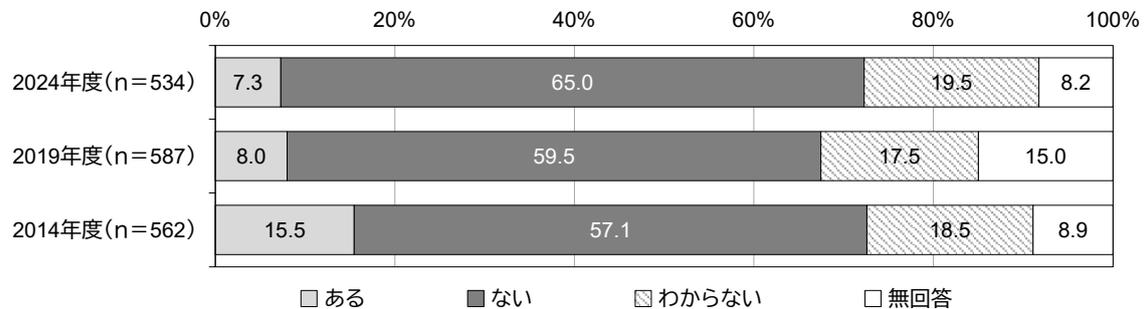
◆過去2回の調査と同様の傾向



(7) 女性は定年まで勤め続けにくい雰囲気がある

◆「ない」が6割以上で最も高く、次いで「わからない」が約2割

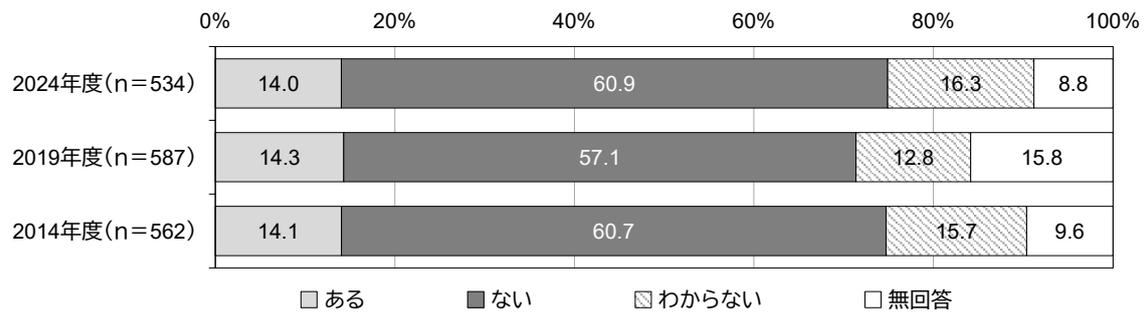
◆過去2回の調査と同様の傾向



(8) 性的な言動で不快な思いをしたことがある

◆「ない」が6割以上で最も高く、次いで「わからない」「ある」が1割以上

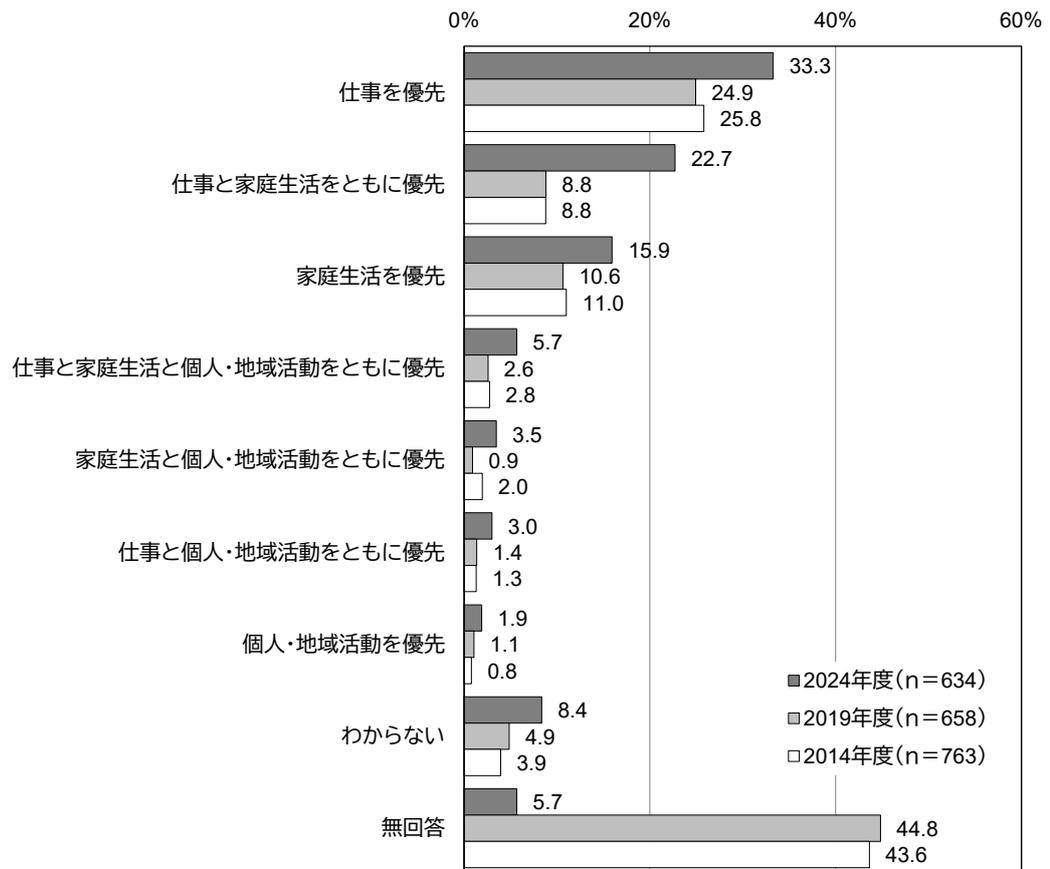
◆過去2回の調査と同様の傾向



問 20. 生活の中で、「仕事」、「家庭生活」、「個人・地域活動（趣味、町内会の活動、ボランティア活動など）」の優先度について、あなたの現実と希望に最も近いものを選んでください。（それぞれ1つに○）

(1) 現実（している）

- ◆「仕事を優先」が3割以上で最も高く、次いで「仕事と家庭生活をともに優先」が2割以上
- ◆過去2回の調査と同様の傾向

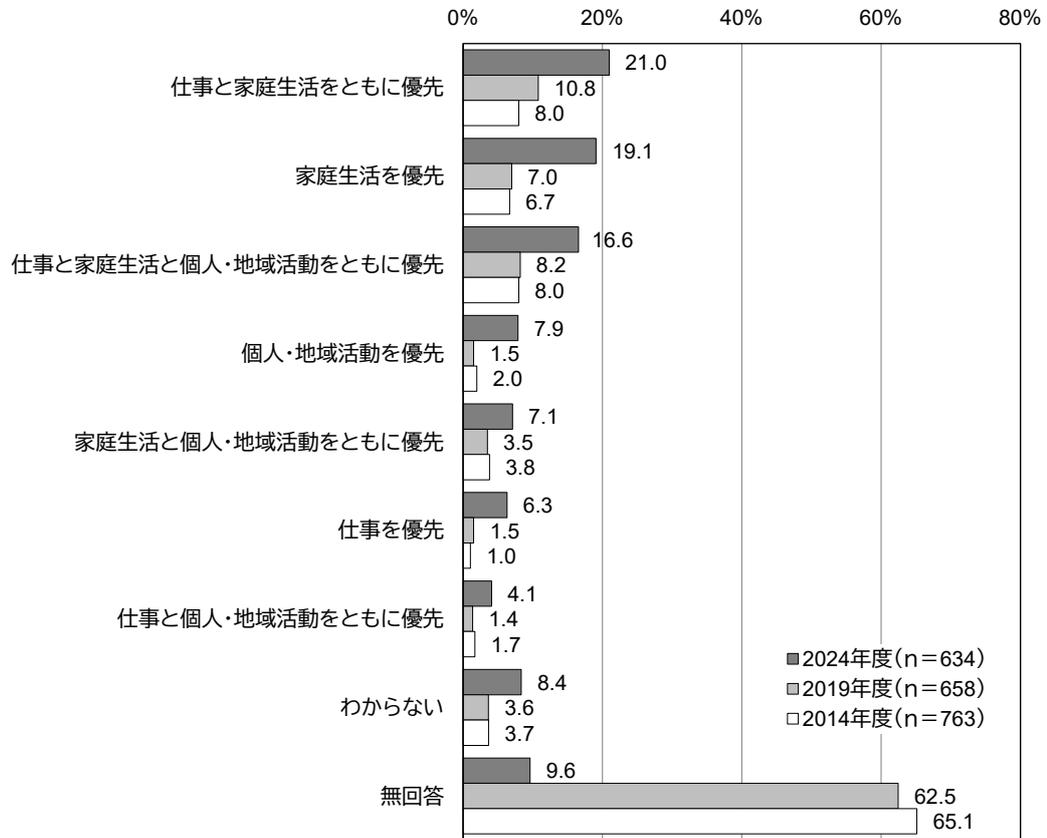


※「仕事」「家庭生活」「個人・地域活動」それぞれの「」を省略して表示

(2) 希望 (したい)

◆「仕事と家庭生活をともに優先」「家庭生活を優先」「仕事と家庭生活と個人・地域活動をともに優先」の3項目が約2割で同程度に高い

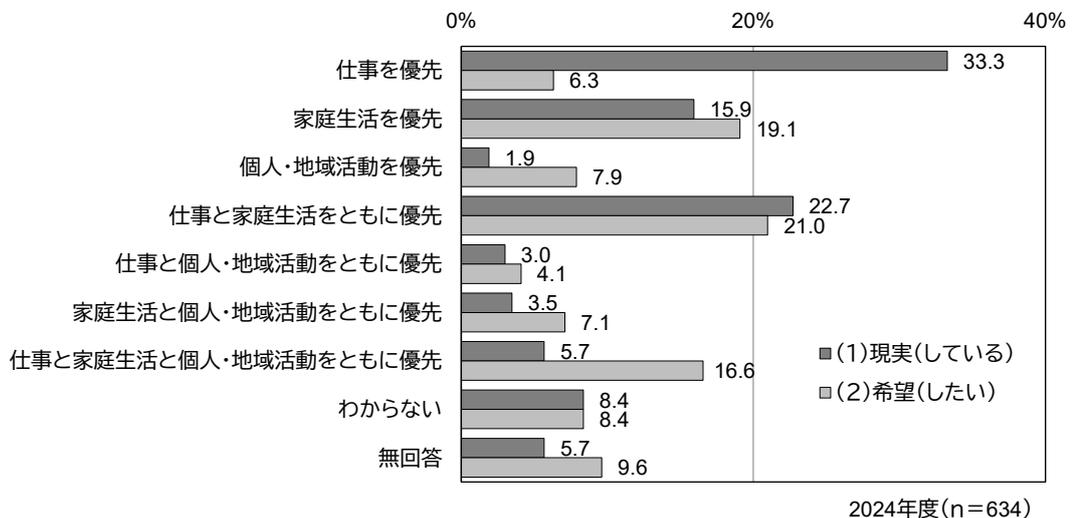
◆過去2回の調査と同様の傾向



※「仕事」「家庭生活」「個人・地域活動」それぞれの「」を省略して表示

◆現実と希望をあわせてみると、「仕事を優先」は現実が希望を上回り、その差が大きい

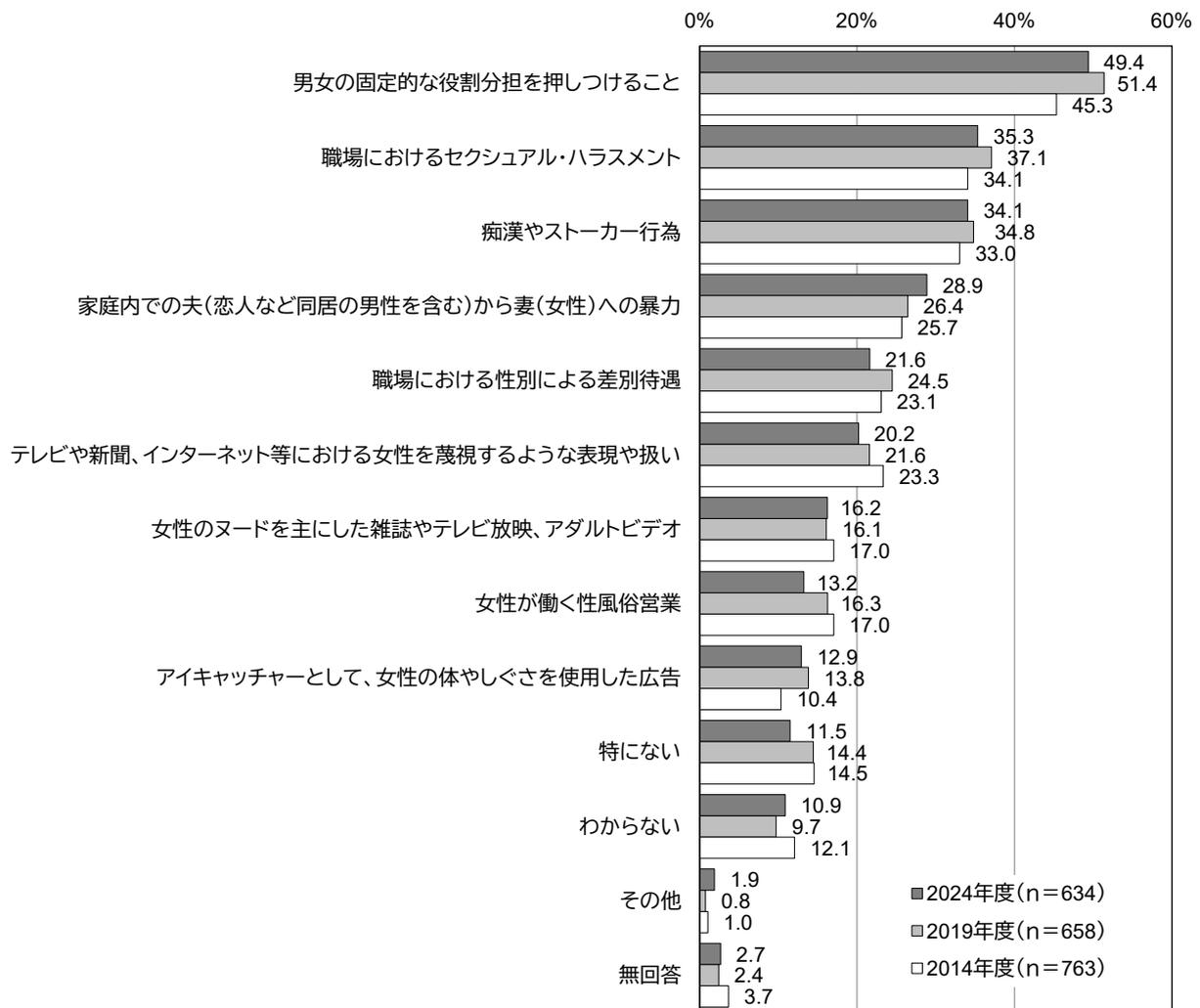
◆「仕事と家庭生活と個人・地域活動をともに優先」は希望が現実を上回る



6 人権について（問 21～問 23）

問 21. あなたは、どのようなことについて、女性の人権が尊重されていないと感じますか。（〇はいくつでも）

- ◆「男女の固定的な役割分担を押しつけること」が約5割で最も高く、次いで「職場におけるセクシュアル・ハラスメント」「痴漢やストーカー行為」の2項目が3割以上
- ◆過去2回の調査と同様の傾向

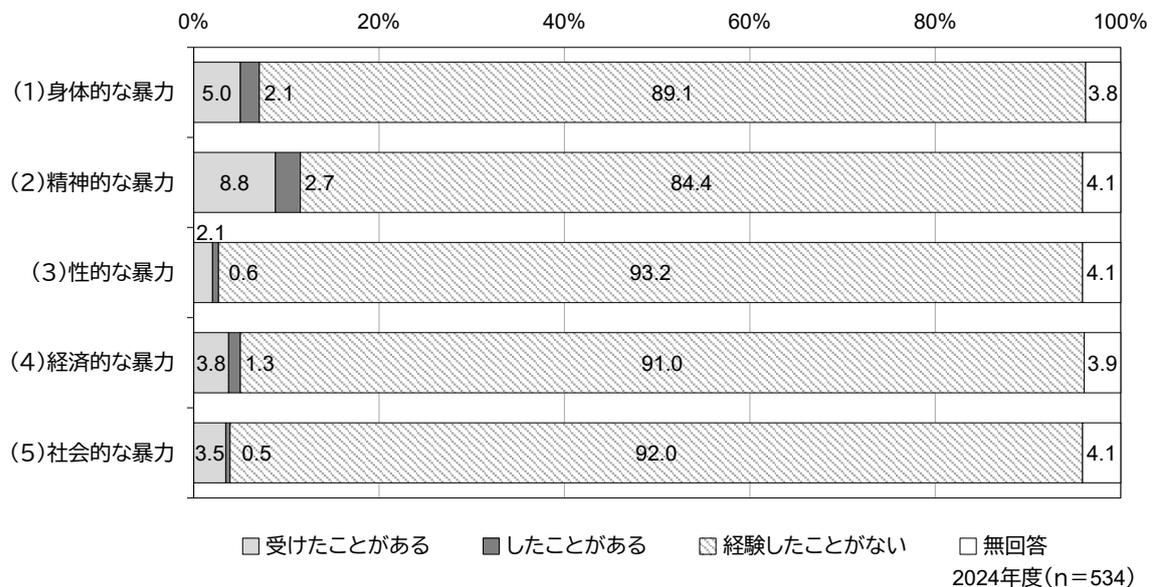


※項目はそれぞれ、以下の内容を()内に例示して設定

- ・男女の固定的な役割分担を押しつけること（「男は仕事、女は家庭」など）
- ・職場におけるセクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ・おどし・いじめ）
- ・アイキャッチャー（人目をひくためのもの）として、女性の体やしぐさを使用した広告

問 22. あなたは、ここ数年の間に、パートナー（配偶者や恋人など）からの暴力（DV）について、経験したことがありますか。（それぞれ1つに○）

- ◆いずれの項目も「経験したことがない」が8～9割以上で特に高い
- ◆「精神的な暴力」は「受けたことがある」が約1割で比較的高い



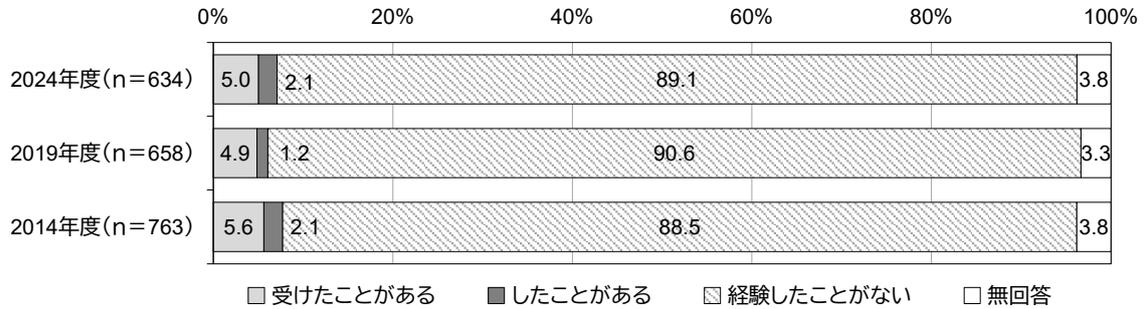
※項目はそれぞれ、以下の内容を()内に例示して設定

- (1) 身体的な暴力（平手で打つ、なぐる、足でける、物を投げつける、突き飛ばすなど）
- (2) 精神的な暴力（なぐるふりをしておどす、刃物などを突きつけておどす、何を言っても無視する、人格を否定するような暴言をはくなど）
- (3) 性的な暴力（嫌がっているのに性的な行為を強要する、見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せるなど）
- (4) 経済的な暴力（生活費を入れないなど）
- (5) 社会的な暴力（交友関係や電話を細かく監視する、外出を制限する、家族や友人と会うことを制限するなど）

(1) 身体的な暴力

◆「経験したことがない」が約9割、「受けたことがある」が1割未満

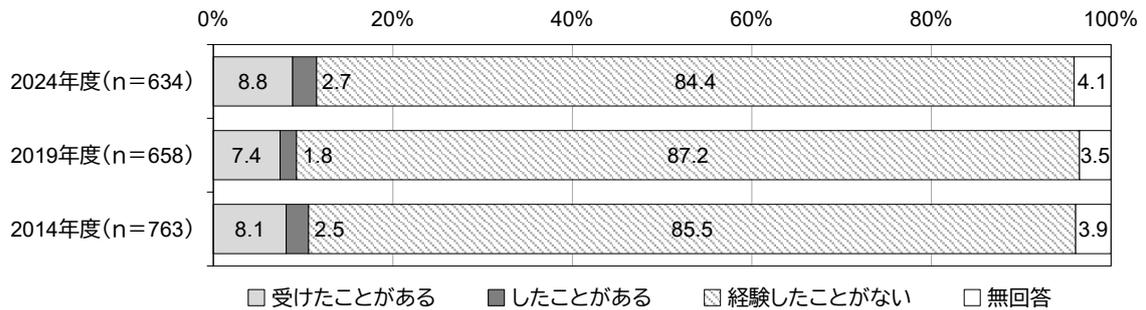
◆過去2回の調査と同様の傾向



(2) 精神的な暴力

◆「経験したことがない」が8割以上、「受けたことがある」が約1割

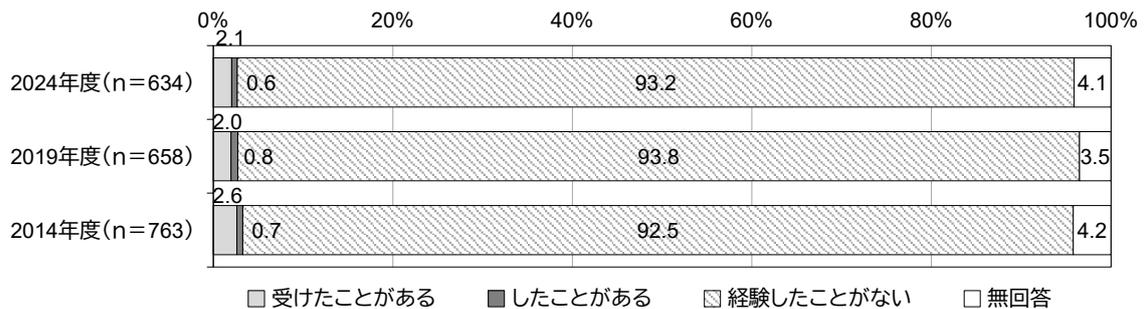
◆過去2回の調査と同様の傾向



(3) 性的な暴力

◆「経験したことがない」が9割以上、「受けたことがある」が1割未満

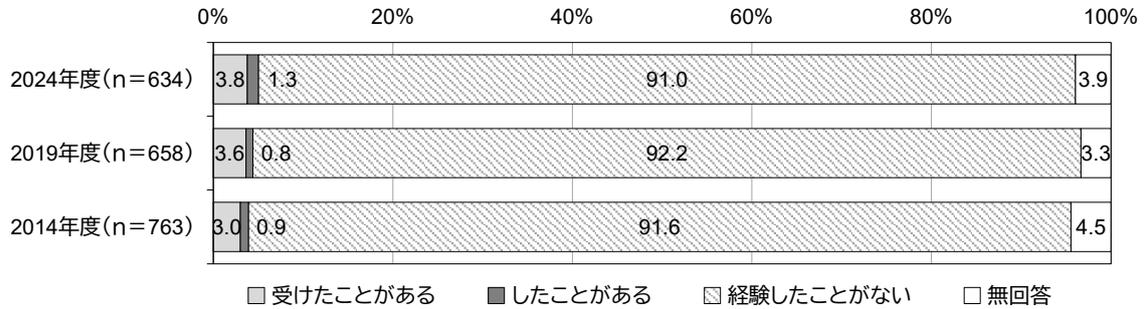
◆過去2回の調査と同様の傾向



(4) 経済的な暴力

◆「経験したことがない」が9割以上、「受けたことがある」が1割未満

◆過去2回の調査と同様の傾向



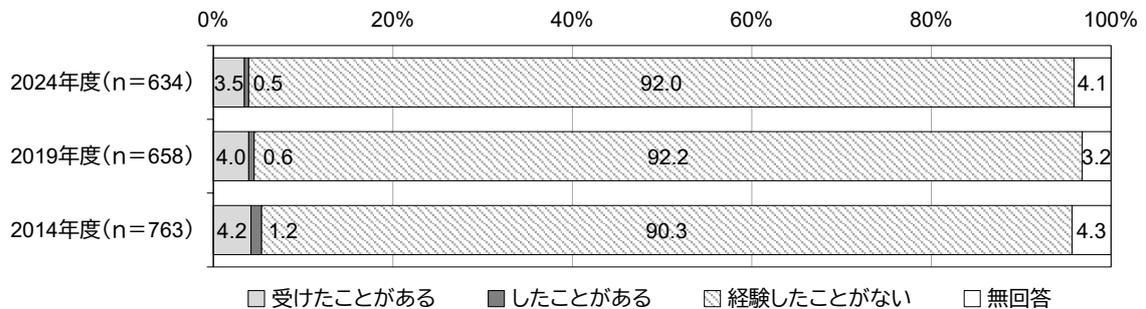
(5) 社会的な暴力

◆「経験したことがない」が9割以上、「受けたことがある」が1割未満

◆過去2回の調査と同様の傾向

「経験したことがない」(92.0%)が9割以上、「受けたことがある」(3.5%)が1割未満となっています。

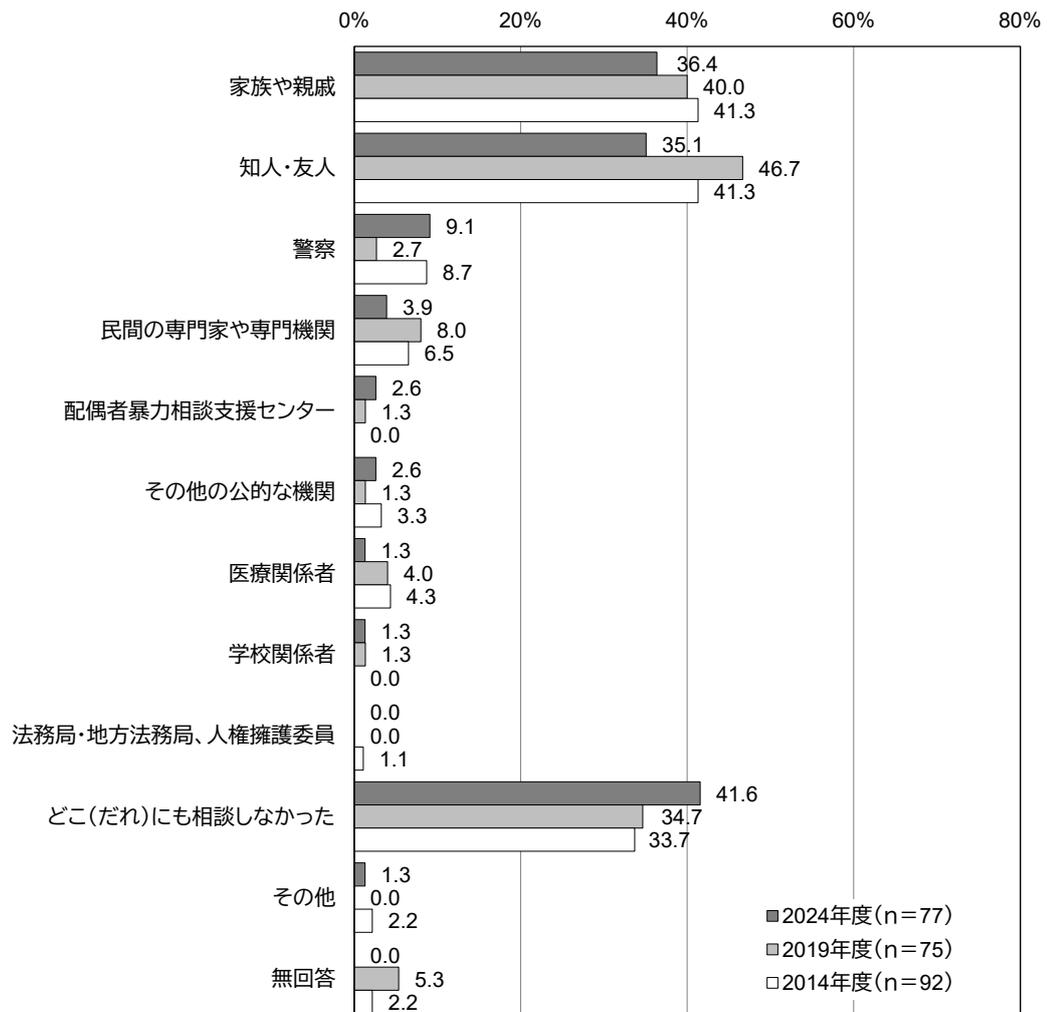
過去2回の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 22-1. あなたが受けたそのような行為について、どこか（だれか）に打ち明けた
り、相談しましたか。（〇はいくつでも）

【問 22. で、1つでも「受けたことがある」とした場合】

- ◆ 「どこ（だれ）にも相談しなかった」が4割以上、次いで「家族や親戚」「知人・友人」の2項目が3割以上
- ◆ 「知人・友人」は前回調査より低い



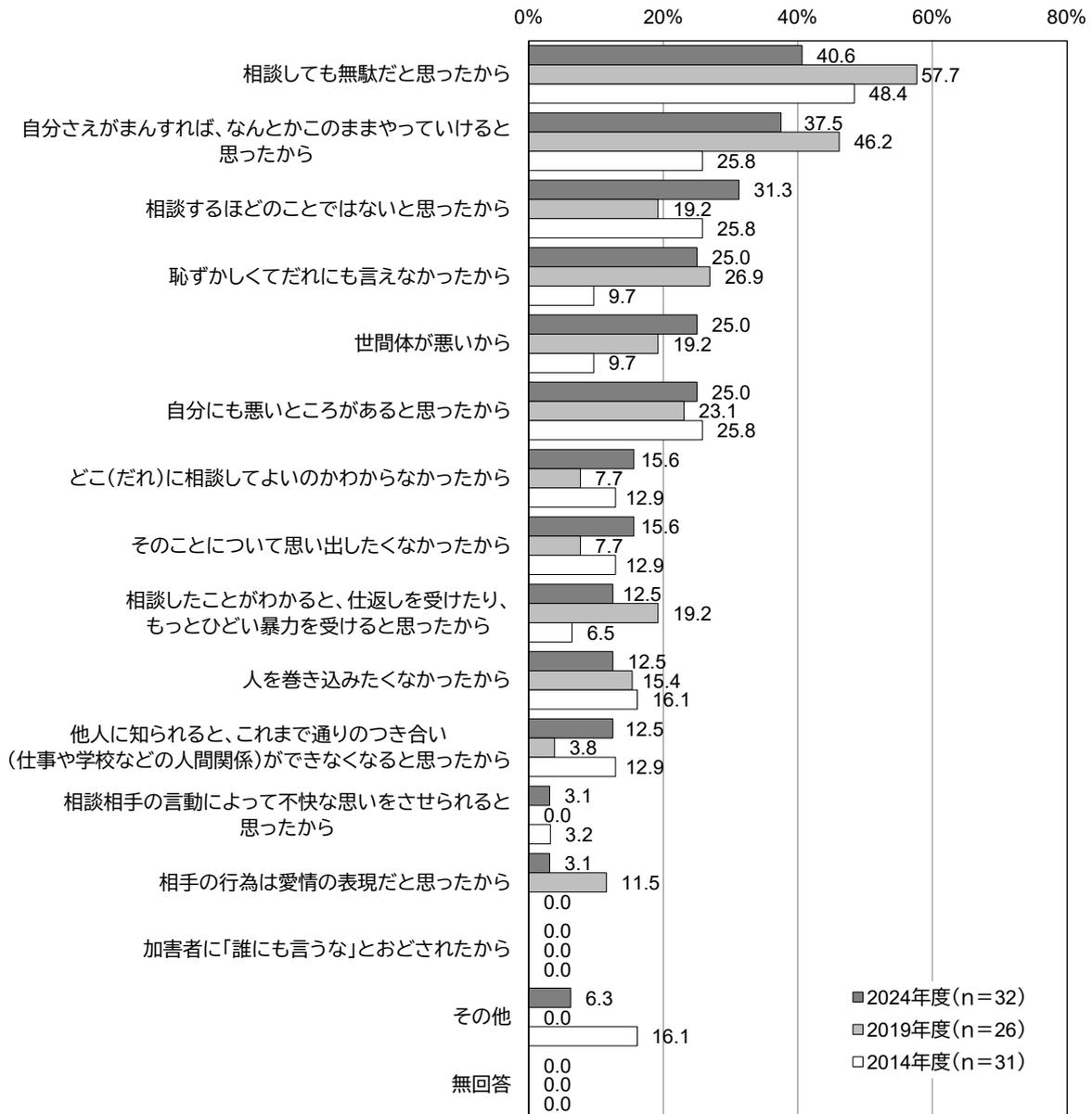
※以下の選択肢はそれぞれ、内容を()内に例示して設定

- ・ 民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど）
- ・ 配偶者暴力相談支援センター（女性相談所、女性相談センター、その他の施設）
- ・ 医療関係者（医師、看護師など）
- ・ 学校関係者（教員、養護教員、スクールカウンセラーなど）

問 22-2. あなたが、どこ（だれ）にも相談しなかった理由は何ですか。
 (〇はいくつでも)

【問 22-1. で、「どこ（だれ）にも相談しなかった」とした場合】

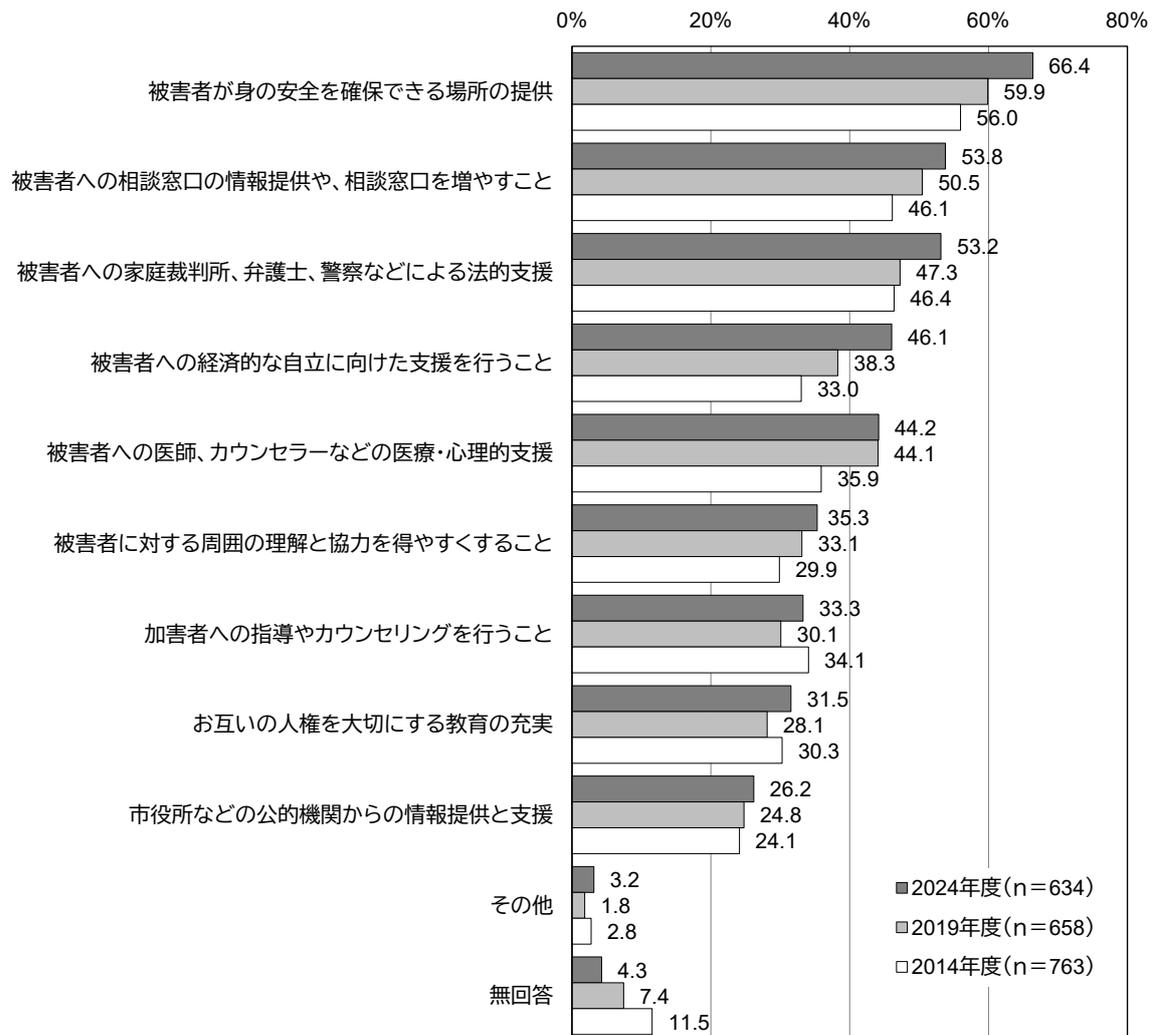
◆「相談しても無駄だと思ったから」「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっ
 ていけると思ったから」の2項目が約4割で高い



問 23. パートナー（配偶者や恋人など）からの暴力に対して、どのような支援が有効だと思いますか。（〇はいくつでも）

◆「被害者が身の安全を確保できる場所の提供」が6割以上、次いで「被害者への相談窓口の情報提供や、相談窓口を増やすこと」「被害者への家庭裁判所、弁護士、警察などによる法的支援」の2項目が5割以上

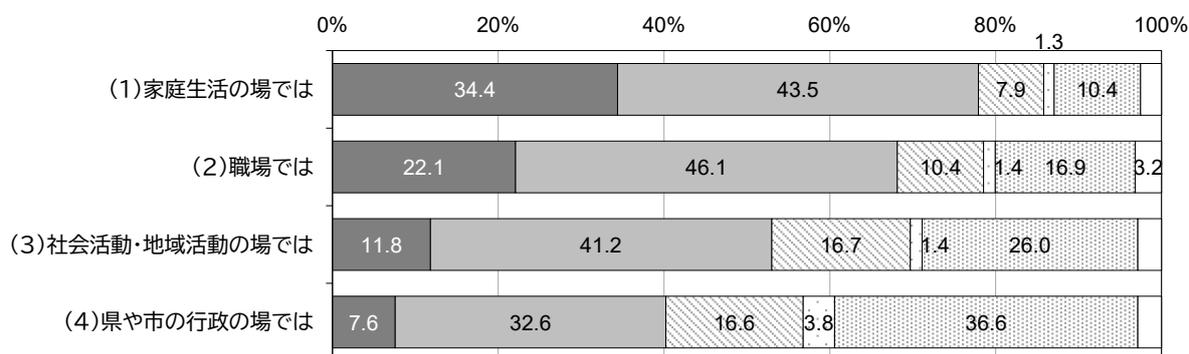
◆ほとんどの項目が高くなる傾向



7 男女共同参画社会について（問 24～問 27）

問 24. あなたは、生活における各種の場で、その方針や政策が決められるときに、女性の意見がどの程度反映されていると思いますか。（それぞれ1つに○）

- ◆「県や市の行政の場」は「わからない」、他の項目はいずれも「ある程度されている」が最も高い
- ◆合計値『されている』※¹は「家庭生活の場」が約8割で最も高く、合計値『されていない』※²は「県や市の行政の場」「社会活動・地域活動の場」が約2割で同程度に高い



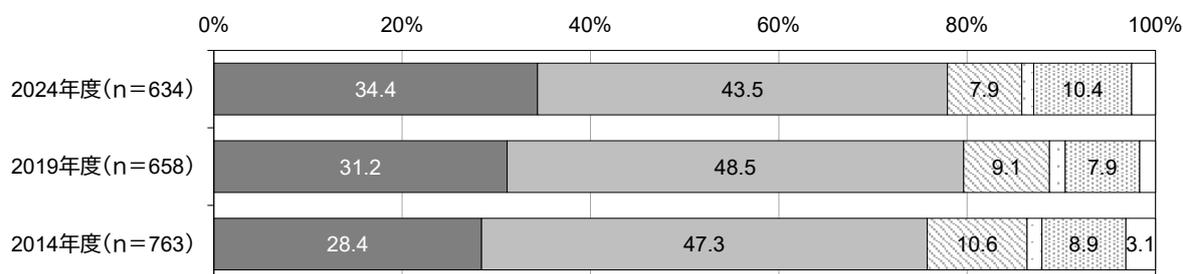
■ 十分されている ■ ある程度されている ▨ あまりされていない □ まったくされていない ▩ わからない □ 無回答

※¹ 「十分されている」「ある程度されている」の合計値

※² 「あまりされていない」「まったくされていない」の合計値

(1) 家庭生活の場では

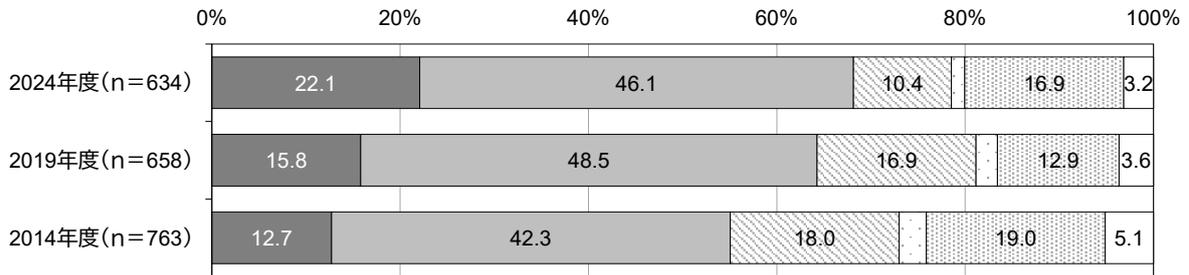
- ◆合計値『されている』が約8割で、過去2回の調査と同様の傾向



■ 十分されている ■ ある程度されている ▨ あまりされていない □ まったくされていない ▩ わからない □ 無回答

(2) 職場では

◆合計値『されている』が約7割で、高くなる傾向



■ 十分されている ■ ある程度されている ▨ あまりされていない □ まったくされていない ▩ わからない □ 無回答

(3) 社会活動・地域活動の場では

◆合計値『されている』が5割以上で、過去2回の調査と同様の傾向



■ 十分されている ■ ある程度されている ▨ あまりされていない □ まったくされていない ▩ わからない □ 無回答

(4) 県や市の行政の場では

◆「わからない」が約4割で最も高い

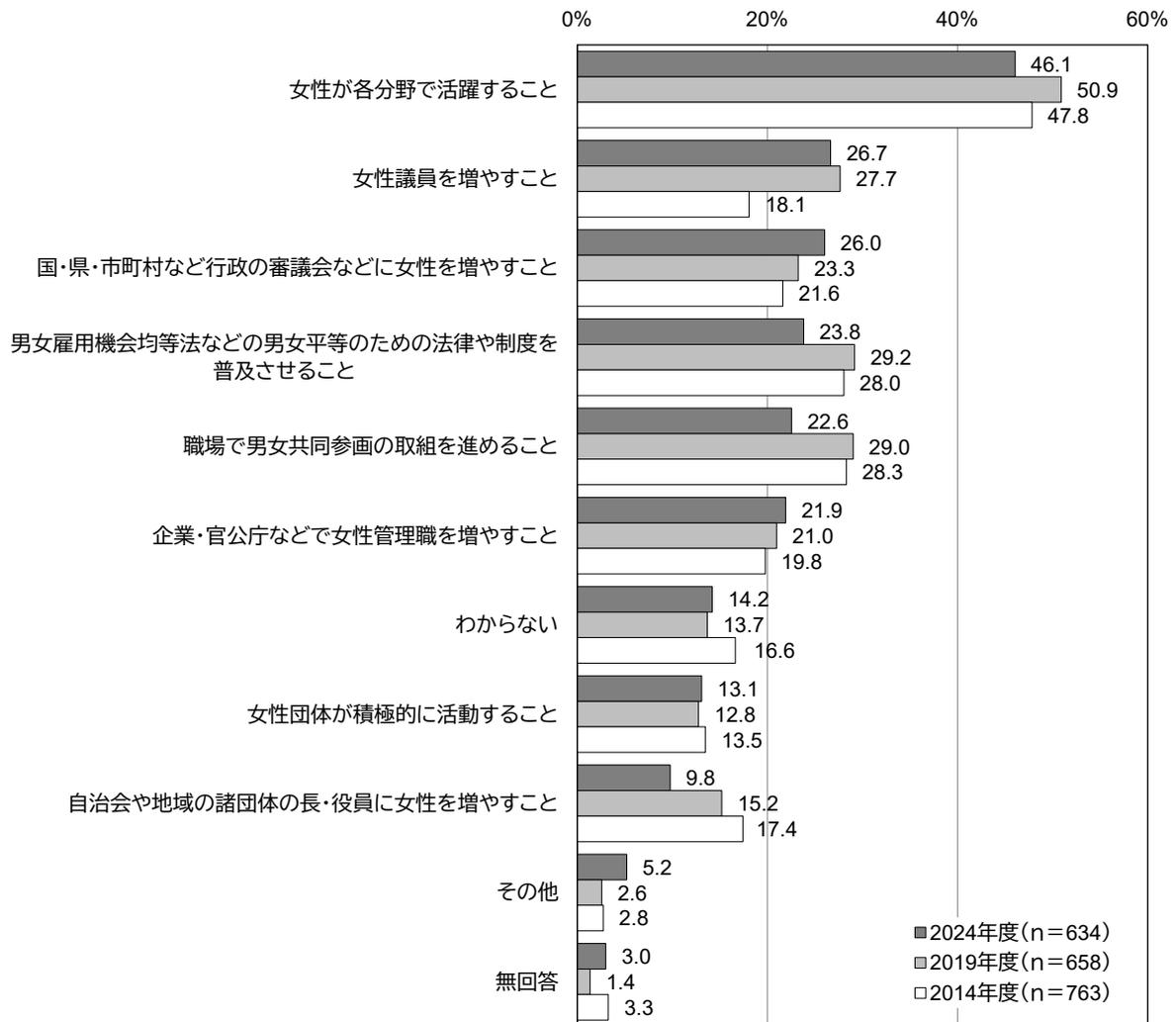
◆合計値『されている』が4割以上で、過去2回の調査と同様の傾向



■ 十分されている ■ ある程度されている ▨ あまりされていない □ まったくされていない ▩ わからない □ 無回答

問 25. あなたは、行政や企業、社会的活動などの方針決定への女性の参画を図るうえで、どのようなことが大切だと思いますか。(3つまで○)

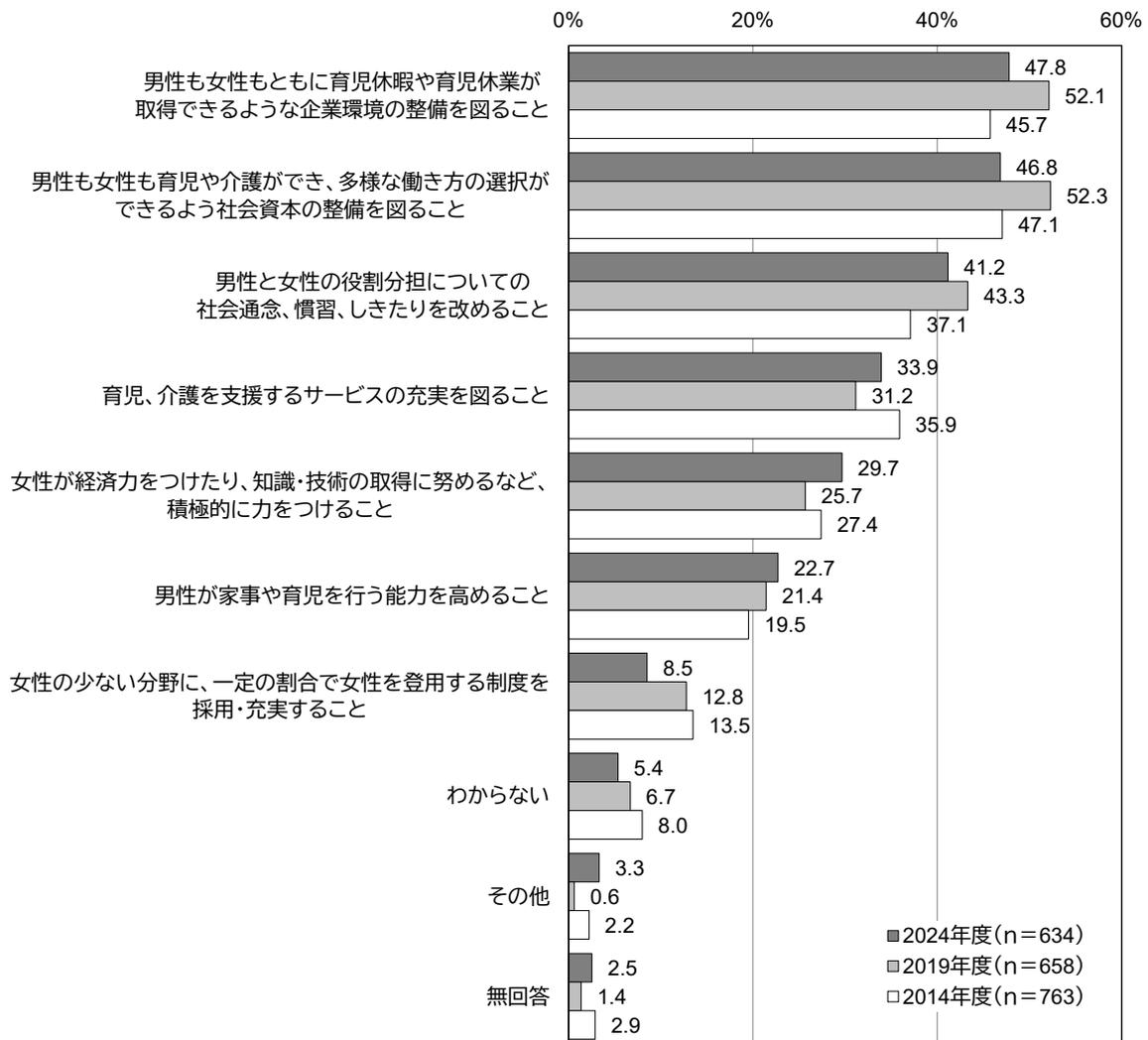
- ◆「女性が各分野で活躍すること」が4割以上、次いで「女性議員を増やすこと」「国・県・市町村など行政の審議会などに女性を増やすこと」の2項目が約3割
- ◆過去2回の調査と同様の傾向



問 26. あなたは、今後、男性も女性もともに社会のあらゆる分野に積極的に参画していくためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(3つまで○)

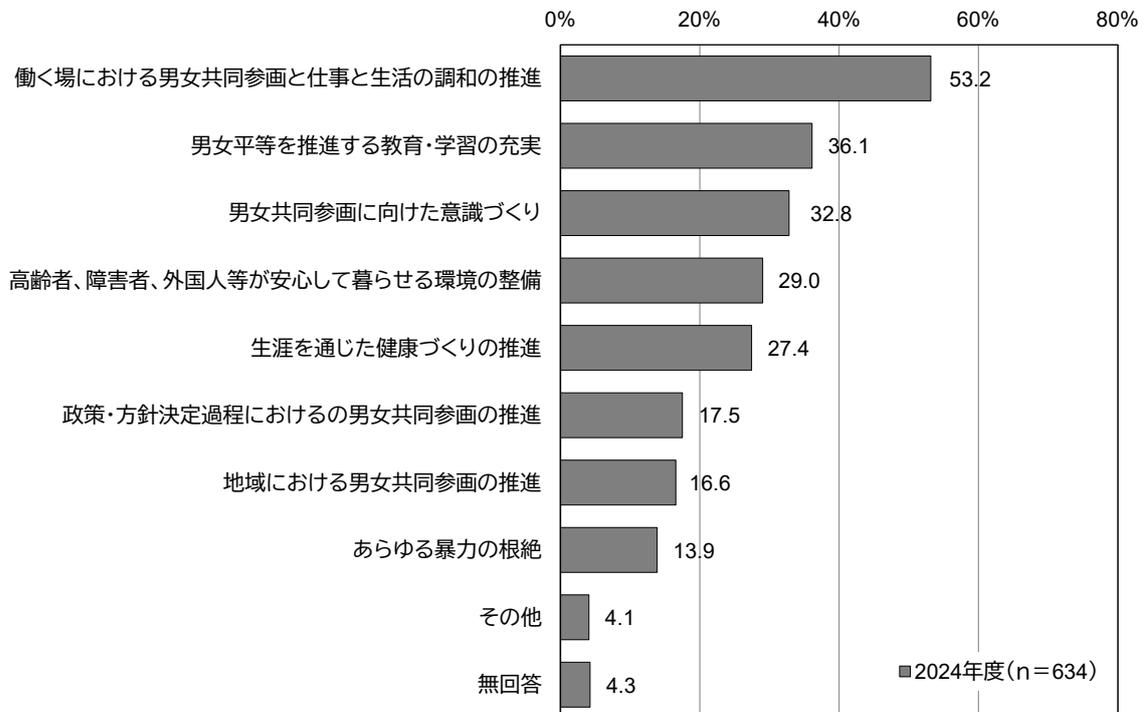
◆「男性も女性も育児休暇や育児休業が取得できるような企業環境の整備」「男性も女性も育児や介護ができ、多様な働き方の選択ができるよう社会資本の整備」の2項目が約5割、次いで「男性と女性の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める」が4割以上

◆過去2回の調査と同様の傾向



問 27. あなたは、男女共同参画社会の実現に向け、沼田市として特にどのようなことに取り組むべきと思いますか。(3つまで○)

◆「働く場における男女共同参画と仕事と生活の調和の推進」が5割以上で最も高く、次いで「男女平等を推進する教育・学習の充実」「男女共同参画に向けた意識づくり」の2項目が3割以上



※選択肢はそれぞれ、以下の内容を()内に例示して設定

- ・働く場における男女共同参画と仕事と生活の調和の推進 (事業所の取組促進、女性が働きやすい環境づくり、仕事と育児・介護の両立支援推進など)
- ・男女平等を推進する教育・学習の充実 (市民の学習機会・学校教育の推進など)
- ・男女共同参画に向けた意識づくり (社会制度・慣行の見直し、広報・啓発活動の推進など)
- ・高齢者、障害者、外国人等が安心して暮らせる環境の整備 (高齢者や障害者等の生活支援、国際理解と多文化共生の推進など)
- ・生涯を通じた健康づくりの推進 (性差に配慮した健康支援の充実、妊娠・出産・育児の切れ目のない親子の健康づくりなど)
- ・政策・方針決定過程における男女共同参画の推進 (市審議会や市管理職等への女性登用、市職員への研修、庁内の体制整備の推進など)
- ・地域における男女共同参画の推進 (地域活動・社会活動の場・防災対策での推進、農業・商工業等自営業での促進など)
- ・あらゆる暴力の根絶 (暴力を防ぐ環境整備、被害者への支援体制の充実など)